

令和6年度

第11回 定時社員総会



日時：令和6年6月16日（日）14:00～

場所：東京都千代田区 如水会館

一般社団法人 全麺協

全麵協のそば道



【そば道の基本理念】

そば道は手打ちそばを通じて自らを高め
心豊かで潤いのある人生を歩み社会に
貢献することです



【そば道憲章】

1. 私たちは そば打ち技術を会得しその奥義を極めます
1. 私たちは そばの歴史と文化を学び次世代へと継承します
1. 私たちは そば打ちを通じて五感を磨き創造力を高めます
1. 私たちは もてなしの心を育み出会いと喜びに感謝します
1. 私たちは そば打ちを広め仲間とともに地域づくりに努めます
1. 私たちのそば道は 礼に始まり礼に終わります

一般社団法人 全麵協 第11回定時社員総会
次 第

開 会

理事長挨拶

表 彰 功勞者表彰、SOBA MEISTER 認証者

議長選出

議 事

第1号議案	令和5年度(一社)全麵協事業報告	2
第2号議案	令和5年度(一社)全麵協決算報告(案)・監査報告	19
第3号議案	定款改正(案)	27
第4号議案	令和6年、7年度(一社)全麵協役員選任(案)	30
第5号議案	令和6年度(一社)全麵協事業計画(案)	31
第6号議案	令和6年度(一社)全麵協収支予算(案)	44
第7号議案	その他	

議事終了

閉 会

添付資料

1	令和5年度 SOBA MEISTER 認証者名簿	47
2	一般社団法人全麵協 定款	省略
3	そば道段位認定制度規程	省略
4	令和5年度全麵協研修センター利用状況	53
5	会員名簿	54
6	一般社団法人全麵協本部、支部事務局住所	省略

第1号議案 令和5年度(一社)全麵協事業報告

I 会議関係

○ 総会

第10回定時社員総会

令和5年6月17日(土) 東京都千代田区 如水会館

○ 理事会

第1回

日 時：令和5年4月23日(日) 19時～21時

場 所：ZoomによるWeb会議

報告事項

1 事務局

(1) 入退会報告

議題

1 設立30周年式典の運営について

2 七段位認定選考会について

3 令和5年度役員について

4 役員報酬について

5 四段位・五段位認定審査会のそば粉について

6 その他

第2回

日 時：令和5年6月17日(土) 11時～12時30分

場 所：千代田区如水会館1階コンファレンスルーム

報告事項

1 事務局

(1) 入退会報告

議題

1 自由民主党蕎麦振興議員連盟設立

2 段位認定制度規程変更について

3 令和5年度事務分担表について

第3回

日 時：令和5年7月31日(金) 19時～21時

場 所：ZoomによるWeb会議

報告事項

- 1 五段位認定会の進捗状況
- 2 「地域交流フォーラム in 小淵沢」の開催報告
- 3 人材育成研修会
- 4 そば粉の販売状況
- 5 そば道五段位全国大会の準備状況
- 6 事務局体制について
- 7 入会報告

議題

- 1 全国五段位大会に出場する方の研修会
- 2 各部の事業予定
- 3 各種規程の検討

第4回

日 時：令和5年9月27日(金) 19時～21時25分

場 所：ZoomによるWeb会議

報告事項

- 1 人材育成研修会
- 2 五段位認定会の進捗状況
- 3 五段位全国大会の進捗状況

議題

- 1 各種規定の施行について
- 2 コンプライアンス管理委員会の開催について
- 3 当面の課題について
- 4 次年度の事業計画・予算案・役員改選について
- 5 その他

第5回

日 時：令和5年12月17日(日) 14時～16時30分

場 所：麺業会館2F会議室

報告事項

- 1 五段位認定会（10月27日～29日 北海道新得町）

- 2 第1回そば道五段位全国大会 in 東京
- 3 五段位認定者研修会（12月9日～10日平塚市）
- 4 そば粉の販売状況
- 5 予算の執行状況
- 6 事務局体制について
- 7 入退会報告

議題

- 1 本部事務から5支部への事務移管に関して
- 2 本部組織の変更について
- 3 そば道五段位全国大会について
- 4 令和6年度全麵協指定のそば粉について
- 5 定款の一部改正について
- 6 そば道段位認定制度規程の一部改正について
- 7 今後の日程について

第6回

日時：令和5年3月9日(土) 18時～21時12分

場所：ZoomによるWeb会議

報告事項

- 1 入退会報告
- 2 事業経過報告
- 3 段位認定会等の報告

議題

- 1 役員の選任について
- 2 令和6年度定時社員総会について
- 3 令和6年度5支部事業計画案について
- 4 定款一部改正について
- 5 そば道段位認定制度規程の一部改正について
- 6 支援員の要綱一部改正について
- 7 特任審査員、全国審査員選任について
- 8 その他

○ その他の会議

支部長・事務局長会議：令和6年1月30日（火）19時～21時
ZoomによるWeb会議

II 総括

令和元年から始まったコロナ感染症は、全麵協事業にも大きな影響を及ぼしました。コロナ感染症対策は4年間に及び、大きな不安や先の見通せない状況の中で、日常の行動も制限されるなど、市民生活や経済活動への影響が暗い影を落としました。更に追い打ちをかけるように、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるカザ地区への武力侵攻など、武力によって現状を変更しようとする政治的意図によって世界平和が崩壊し、大きな不安が拡散しています。

世界の分断が物流の供給制約などを深刻化し、食料やエネルギーなどの価格の高騰に拍車がかかりました。世界経済もまた歴史的なインフレが襲い、最近の円安・ドル高は国民生活をますます圧迫する方向に向かわせています。株高にもかかわらず、国民生活が不安定化し、将来への希望が持てない閉塞感が漂う令和5年度でありました。

また、政治の世界では、政治不信が拡大するような国民不在の不幸な出来事が続いています。

一方、コロナ感染症の感染法上の扱いが、令和5年度から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられました。このことにより、緊急事態宣言や営業時間短縮要請はなくなり、マスク着用は個人の判断にゆだねられることとなりました。この間、会員の皆様には、新型コロナウイルス感染防止の「全麵協ガイドライン」に沿って諸事業に取り組んでいただいていたところでありました。

5類への引き下げを受け、全麵協事業、会員の皆様の諸事業に積極的に取り組んでいただき、計画した事業は滞りなく実施することができました。

特に、5月27日・28日富山市で行いました「全麵協設立30周年記念式典並びに第3回一般公開そば大学 in 富山」の開催、更には11月8日に東京都立産業貿易センター浜松町館で開催された「そば道五段位全国大会 in 東京」の開催など、全麵協設立30周年記念事業に、会員の皆様が準備作業や参加に積極的、精力的に取り組んでいただきました。

各支部に於いては、支部への移管を進めている「そば道四段位認定会」を万全な体制で実行していただき、支部事業としての定着度が増しました。

また、5月の「第3回一般公開そば大学 in 富山」は、多彩な講師陣によって、そば文化の振興と社会への貢献の学びの場となりました。8月には山梨県小淵沢町において「地域交流フォーラム・そば料理コンテスト・女流そば打ち名人大会」を地域振興部と企画部の共催事業で初めて実施し、10月には北海道新得町に於いて開催された「そば道五段位認定会」はこれまでにない人数の受験者があり、北海道支部のご協力をいただいて無事実施することができました。同月には、富山県南砺市利賀で「利賀新そば祭り」に参加し、

祭りの支援を行いました。12月には神奈川県平塚市で「五段位認定者研修会」を開催して、研修の中で地元の市民の方々へのそば打ち指導を行い、受講された市民の皆様には好評を得ました。今後の「地域活性化イベント」の在り方の一つとして、貴重なヒントを得ることとなりました。年が明けて、3月には「七段位選考会」・「六段位選考会」を開催しました。

また、全麵協があっ旋するそば粉の販売方法に、新たにネット申し込みを導入し、そば粉購入の利便性の向上にも努めました。

田原町の研修センターにおいては、首都圏支部の皆様の協力をいただき、上位段の受験者技術研修やそば打ち技術指導、そば料理の試作など積極的な活動を行いました。

会員皆様の意識や知識の高まりから、各支部に於ける「そば打ち体験指導」や「そば打ち教室」等も積極的に開催され、コロナ以前の状態に戻りつつあることを実感できました。

令和5年度は、コロナ禍の様々な制約や不安が徐々に払しょくされつつあると感じた矢先でしたが、年明け1月1日能登半島沖地震により大規模な災害が発生し、不安な年明けとなりました。このような大規模災害が起きた中で、全麵協の仲間の皆さんにより、そばの提供による被災地支援活動を行っていただきました。

まだまだ安心、安全への懸念がありますが、会員の皆様のご支援、ご協力によって基幹事業である「そば道段位認定会」をはじめ、予定した諸事業を無事実施することができました。

ご支援、ご協力をいただきました会員の皆様に、心からの感謝を申し上げます。

Ⅲ 各部報告

【総務部】

『事務局』

1 総会の適正な管理と執行

令和5年6月17日(土) 如水会館 午後2時から

2 理事会、支部役員会議等の開催

(1) 理事会

年度内6回開催、2回対面理事会、4回ZoomによるWeb会議

(2) 支部長・事務局長会議 1回 ZoomによるWeb会議

3 全麵協行事の執行管理

(1) 全麵協設立30周年記念式典、並びに「そば大学 in 富山」の開催

(2) 「記念誌」発刊

(3) 「第1回全麵協そば道五段位全国大会」の開催

- (4) 令和5年度「次世代の全麵協を考える研修会」の開催
- 4 会費徴収手数料の適正な査定と交付 今年度は2回交付
- 5 全麵協正会員の実態把握と新規入会への積極的推奨
 - (1) 正会員の構成および活動実態の把握
 - (2) 各支部と連携して新規加入会員の掘り起こしと加入促進を図る
- 6 ZEN 麵ライセンス規約の適正な運用管理
- 7 ニュースフラッシュの発行と配布30号から35号、特集号も含め7回配信

『経理担当』

- 1 予算書策定と適正執行・管理
- 2 正会員会費及び個人会員・特別個人会員会費の確実な徴収
- 3 予算書経理状況の把握と適時理事会への報告

『データ担当』（一部外部委託）

- 1 段位認定登録者名簿の適正管理
- 2 会費納入規程に基づく納入者の整合性点検と確認
- 3 個人情報管理徹底

【広報渉外部】

令和5年度の最重要課題であった全麵協会報発刊に向けて準備を進めていましたが、紙面による会報発刊を中止することとなり、事業内容が変更になりましたが、次の活動に取り組みました。

- 1 設立30周年記念事業である【第1回全麵協そば道五段位全国大会 in 東京】の大会誌作成。又、第4回一般公開そば大学 in 尾道のチラシ、大会誌作成にあたりました。
- 2 Facebook による交流の推進
Facebook「そば仲間」を通して、情報提供とネット上における会員交流を図りました。令和5年度2月末時点で、約1200人がメンバー登録して交流を行っています。しかし、投稿者は固定化されており、より多くの投稿者が活発に利用するように取り組むことが課題として残りました。
- 3 支部・広報担当者との連携強化
本部・支部の広報担当者は、定期的な「月例Web会議」を開催して情報交換を計画していましたが、広報渉外担当の事業計画見直し作業等で月例の会議として定着さ

せることができなかった。

【段位認定部】

- 1 「そば道段位認定制度規程」の趣旨を広く広報し、そば道段位認定制度の拡充を図る。
 - (1) 段位認定制度の完成度を一層高めるため、受験者の高齢化に伴う受験方法の見直しや技能審査方法の改善
 - ※五段位認定会の受験資格年数については、これまでの3年度から2年度に変更した。
 - ※五段位筆記試験については、講習会を行い、即時筆記試験を行った。
各支部において、7月15日から16日に開催した。
 - ※三段位の再受験について、これまでの1年間から1年度に変更した。
 - (2) 段位認定制度による段位認定者の増強拡大（小規模認定会の許認可）
小人数の受験者により各団体において初段位・二段位認定会を開催
香川県・神奈川県・沖縄県・尾道市
 - (3) 段位認定制度の普及促進
 - ①各支部と連携して空白地域における段位認定者の増強（香川県・神奈川県）
 - ②指導普及部及び各支部の指導員と連携し、そば打ち愛好者の段位未認定者への掘り起こし活動の推進と全麺協正会員所属内における未認定者への段位認定受験勧奨活動の推進
 - ③全麺協正会員団体に所属していないそば愛好者に対する働きかけの推進
 - ④特別個人会員三段位認定者に対する正会員団体への個別具体的な斡旋の推進（支部主体となり個別具体的な斡旋の実施）
 - ⑤「全麺協そば道段位認定会支援システム」をExcelバージョンにより本年度から活用した。
 - (4) 特任審査員の活動分野の拡充
 - ①特任審査員を審査員選考委員会に諮問し、理事長が任用した。
東日本支部及び西日本支部から各2名計4名を令和6年4月1日任用
 - (5) 全国審査員の任用
 - ①全国審査員の推薦を各支部から受け、審査員選考委員会に諮問し理事長が任用した。
全国から16名を令和6年4月1日任用
 - (6) 地方審査員の審査機会の創出及び審査精度の向上
 - ①各支部で選任された認定会審査員名簿を本部においても精査した。
 - (7) 各審査員の更新手続き

①平成30年度更新及び令和元年度任用もしくは更新したものについて更新手続きを行った。

(8) そば道段位認定制度規程の広報と利用促進

①各支部主催の「地方審査員審査技術研修会」に参画して、「そば打ち教本」をテキストとして、そば道段位認定制度（特に技能審査チェックリスト項目）の広報活動を実施した。

(9) 六段位選考会の技能審査内容の見直し

(10) ウイズコロナに対応した段位認定事業の実施⇒ガイドラインに定めた無観客実施を有観客実施でよしとした。マスク等については任意ではあるが、極力使用を依頼

2 本部・支部の連携強化

(1) 四段位認定講習会・認定会の支部移管

- ・段位認定制度運用・審査の均一性・公平性・透明性の担保（段位認定部が主体となって支部間格差を生じさせない様にする仕組みづくり）
- ・審査員は主催する支部からの選出だけでなく、本部からの審査員を含めて構成し、審査の公平性・平準化を図った。

(2) 段位認定部と各支部段位認定部との定期的な Zoom 会議による情報共有

- ・本年度も Zoom 会議を定期的に行なった。6回開催

3 四段位認定講習会の開催

四段位認定会の各支部移管に伴い、四段位認定講習会も各支部にて開催

(1) 北海道支部

開催日時：令和5年6月11日

開催場所：北海道上川郡新得町 新得町公民館

(2) 東日本支部

開催日時：令和5年5月20日

開催場所：栃木県宇都宮市 宇都宮キューブ

(3) 首都圏支部

開催日時：令和5年7月2日

開催場所：東京都台東区 台東区民会館

(4) 中日本支部

開催日時：令和5年5月27日～28日

開催場所：富山県富山市 富山国際会議場

(5) 西日本支部

開催日時：令和5年5月21日

開催場所：兵庫県姫路市 姫路・西はりま地場産業センター

4 五段位認定講習会の開催

五段位認定講習会は、中日本支部四段位認定講習会（希望者は他支部からの参加も可）と合同で開催

開催場所：富山県富山市 富山国際会議場

5 そば道段位認定会の開催

(1) 五段位認定会の開催

【一次審査】

開催日時：富山市において開催の五段位認定講習会終了時受験希望者に関係書類を配布及び送付した。

【講習及び筆記試験】

開催日時：令和5年7月15日～16日

開催場所：各支部にて同日実施する。

北海道支部：北海道上川郡新得町 新得町公民館

東日本支部：栃木県宇都宮市 清原工業団地管理センター

首都圏支部：千葉県柏市 さわやか県民プラザ

中日本支部：長野県塩尻市 塩尻総合文化センター

西日本支部：兵庫県姫路市 姫路・西はりま地場産業センター

【本審査会】

開催日時：令和5年10月27日及び28日～29日

開催場所：北海道新得町 新得町公民館

総数112名が本審査に臨んだ。意見発表は時間がかかるため、北海道支部から希望した28名については27日に実施した。新たに、69名が五段位に認定された。

(2) 四段位認定会の開催（事前審査含む）

①北海道支部

開催日時：令和5年10月15日

開催場所：北海道中標津町

②東日本支部

開催日時：令和5年9月17日

開催場所：栃木県宇都宮市

③首都圏支部

開催日時：令和5年10月14日～15日

開催場所：埼玉県大里郡寄居町

④中日本支部

開催日時：令和5年9月23日～24日

開催場所：山梨県南都留郡西桂町

⑤西日本支部

開催日時：令和5年11月18日～19日

開催場所：広島県尾道市

(3) 三段位認定会の開催

①段位認定部による技能審査員の選考

②集計結果の本部管理の設定

③開催場所

北海道支部：令和5年 9月 3日 幌加内町

令和6年 3月24日 江別市

東日本支部：令和5年11月 5日 栃木県日光市

令和5年11月19日 宮城県仙台市

首都圏支部：令和5年 9月 3日 東京都板橋区

令和5年11月11日 千葉県

令和6年 3月 9日 茨城県

中日本支部：令和5年10月 7日 長野県松本市

令和5年11月26日 富山県富山市

西日本支部：令和5年10月29日 兵庫県三田市

令和5年11月26日 大阪府

令和5年11月12日 広島県尾道市

(4) 初段位、二段位認定会の開催

各主催者の計画に基づき全国各地で開催

新規開催及び空白地域での初開催については全麵協本部にて支援

(5) 各支部における初、二段位認定会開催会場数

北海道支部：9会場

東日本支部：6会場

首都圏支部：5会場 6月25日神奈川県にて初開催した。

中日本支部：5会場

西日本支部：7会場 11月26日香川県において初開催した。

(6) 六段位認定選考会の開催

開催日時：令和6年3月17日

開催場所：東京都 麵業会館

対象：五段位第5期まで14名認定

(7) 七段位認定選考会の開催

開催日時：令和6年3月16日

開催場所：東京都 麵業会館 2名認定

6 段位認定会における均一、統一的な高度な技能審査能力の向上

(1) 全国審査員研修会の開催

①技能審査チェック項目の適正な運用

②段位認定会審査員長としての役割についての研修会

開催できなかった。

(2) 新規五段位認定者研修会の開催

①全麵協活動の理解を深めること

②指導者としての資質と見識を高めること

開催日時：令和5年12月9日～10日

開催場所：神奈川県平塚市

令和4年度に認定された者を対象に研修会を開催した。

【指導普及部】

令和5年5月、新型コロナウイルスの5類への移行に伴い、感染拡大に注意しながらも通常の講習会及び普及活動が展開できた。

本年度も、指導普及部の本部と支部・部長会議をZoomにて（5月～12月で8回）開催し、カリキュラム及び講義ツールを見直し、指導員三級任用講習会の開催に備えた。結果、各支部にて指導員三級任用講習会を開催（令和5年4月1日付で）、188名が任用された。

指導員三級任用講習会の開催

北海道支部 令和6年3月17日

北海道 滝川市 中空知職業訓練センター 32名

東日本支部 令和6年3月3日

宮城県 名取市 みちのく潮風トレイルセンター 17名

首都圏支部	令和6年2月17日		
東京都	千代田区 麵業会館	46	名
中日本支部	令和6年3月16日		
愛知県	常滑市 ところなめ市民交流センター	17	名
西日本支部	令和6年1月28日		
兵庫県	姫路市 姫路市民会館	38	名
結果	任用上申者 150名	任用者	150名

- 5月) 30周年記念事業 富山そば大学
技術向上高段位講座(研修センター)
- 8月) 第13回 全国高校生そば打ち選手権大会 協力
20校参加(鵜の一門会の皆様を中心にスタッフ協力いただきました。)
- 9月) 五段位受験者技術講習会(研修センター)
- 10月) 利賀新そば祭り
- 11月) 五段位全国大会
- 1月) 本部技術向上(四段位・五段位)講座 (研修センター)
- 7月) 中日本支部 指導員指導技術講習会
- 8月) 北海道支部 指導員指導技術講習会
- 9月) 東日本支部 高段位技術研鑽会
- 1月) 西日本支部 指導員三級任用・更新講習会
- 2月) 首都圏支部 指導員三級任用・更新講習会

【地域振興部】

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、各地での地域振興事業が通常に戻りつつあり、特に「そば祭り」開催に伴う会員の支援活動が活発化した。しかしながら、地域振興に資する支援事業はまだ十分ではなく、新年度に向けての体制作りが課題として残された。

1 地域振興支援活動

東日本支部東北地域の振興に関して、8月5～6日に秋田県横手市において「東日本支部・そば大学 in 横手」が開催されたので、全麵協の活動について講演し、そばによる地域振興の有用性を訴えた。他の講演者として、農水省東北農政局担当者や地元ソバ生産者も参加しており、そばによる地域活性化について有意義な意見交換ができた。

2 青森県階上町の地域活性化支援事業

本年度は年間を通じて「全麵協指定そば粉」の販売に取り組み、その原材料として青森県階上町で生産された「階上早生」を使用した。使用するために現地に赴き、玄ソバの品質管理と安定供給に協議を重ね、そばによる地域活性化の一助とした。

3 地域交流フォーラム in 小淵沢の共催

山梨県小淵沢町において、7月1～2日の2日間にわたって開催された「地域交流フォーラム in 小淵沢」で、全麵協企画部と共催して「セミナー・女流そば打ち名人大会・そば料理コンテスト」を実施した。全国各地より多数の会員が集い、情報交換と交流が盛んに行われた。

4 新そば祭りの支援

富山県南砺市利賀村で10月21～22日に開催された「利賀新そばを味わう祭り」には、全麵協が全面的に協力し、会員数十名によって3ブース出店し、地域の活性化に努めた。コロナ禍で中断していたイベントであったが、3年ぶりの開催とあって多くの来場者で賑わい、来年度以降も継続して行くことが約束された。

5 神奈川県におけるそばの振興

12月9～10日に神奈川県平塚市で開催された「五段位認定者研修会」のプログラムの中で、地元そば打ち愛好者に対する「そば打ち体験指導」が行われたが、30名の募集に対して5倍の応募者があり、潜在的愛好者の多さに驚かされた。首都圏支部に位置する神奈川県であるが、今後さらに全麵協活動の広報と会員獲得に向けた展開が必要と認識された。

【企画部】

企画部の立ち上げから2年が経過した。単独での事業は難しかったが、地域振興部の協力を得ながら、「地域交流フォーラム」を主催する形で活動を行った。

1 女性会員のネットワーク構築

各支部で活躍されている女性会員に呼びかけて人選を行った。支部によってはまだ時間を要しているが、全麵協活動の普及と会員増強につながる全国的な組織づくりに着手した。

2 地域交流フォーラム in 小淵沢の主催

7月1～2日の2日間にわたって山梨県小淵沢町で開催された「地域交流フォーラム in 小淵沢」を全麵協企画部として主催した。第1部のセミナー【そば食文化と健康】では、キックマン国際食文化研究センター長：山下弘太郎氏が「そばと醤油とつゆ」と題し、そばつゆの原料である醤油やみりんの歴史を通じて、それぞれの成り

立ちやどのような調味料なのかを講演いただいた。なにげなく見過ごしていたラベルに記載されている原材料の理解を深めることができた。続いて「食とアンチエイジング」と題し、KK アルソア管理栄養士：手嶋早苗主任から講演いただいた。エイジングに関わる3つのキーワード「酸化・糖化・炎症」から食事の大切さを再認識し、改めて健康は毎日の積み重ねが大事だと感じた。それぞれの講演の後には参加者との質疑応答もあり、充実した講演内容であった。その後、銭娜（センナ）二胡教室主宰による「マチネコンサート～二胡の調べ～」では、会場が中国の弦楽器「二胡」の郷愁あふれる音色で和やかな雰囲気にも包まれた。第2部の女流そば打ち名人大会では、全国から参集した会員が、1分間スピーチの後、女性らしさ溢れる見事なそば打ちを披露し、最優秀者には名人位が授与された。二日目の「そば料理コンテスト」は創作料理とスイーツの2部門で行われ、麺だけではない幅広いそばの魅力あふれる料理で競い合われた。優劣つけがたい作品ばかりであったが、それぞれの部門で最優秀賞、優秀賞等が授与された。

3 全麵協新そば祭りの開催

当初は、全麵協設立30周年記念事業の一環として実施する予定であったが、11月には「全麵協そば道五段位全国大会 in 東京」の開催があり、諸々の状況を鑑みて実施には至らなかった。

【研修センター運営部】

令和5年度においては、以下の事業を行いました。

1 センターの所在地の住民等に対するそば打ち体験等の利用

台東区住民等センター近隣の住民を対象にそば打ち体験教室を随時行った。

2 全麵協会員の利用

全麵協会員の練習の場として、あるいは交流の場として利用していただいた。

3 現役世代の新たな余暇活動への対応

夜間（平日）のセンター利用にも積極的に対応し、勤労者の新たな余暇活動の場として提供した。

また、民間企業の福利厚生の一環として、そば打ち体験、そば料理を食べながらの懇談会の開催等にも利用していただいた。

4 海外交流

6月13日に台湾の専門学校生徒及び関係者10人程度にそば打ちを体験していただきました。日本代表する食文化について、理解を深めていただいたと思います。

5 若い世代へのそば打ちの普及

7月6日に立正大学のゼミ活動でそば文化を選んでいただき、そば打ちの体験をしていただきました。研修センターの受け入れ人員ほぼ限界の40名弱の学生に集まっていたところでした。

6 多様なそば打ち活動への対応

(1) スロベニア大使他そば打ち体験

全麺協30周年記念大会（富山大会）に在日スロベニア大使のヤネス・プレモジェ大使がご列席していただけることになったことから、これに先立つ5月17日に大使館員も含め6名にそば打ち体験をしていただきました。

また、当日は諸外国との友好に熱心に活動されている逢沢一郎衆議院議員も見学に来られ、中谷理事長と懇談していただくとともに、当会員が打ったおそばを堪能していただきました。

(2) そば打ちプラス研究会の活動

そば打ちプラス研究会で研究、開発したメニューを整理するとともに、五段位全国大会において開発した菓子（そばの実おこし）の販売を行いました。

(3) さらしな講習会の開催

段位認定の課題とはなっていないそば打ちとして、令和6年1月から2月にさらしなそば打ち講習会を開催した。三回の講習会として、延べ約40人が参加しました。

(4) そば打ち見学会の実施

そば打ちの見学会を10月1日及び5日の両日に開催しました。全麺協指導普及部長の試技を見学するとともに質疑応答などを行いました。2日間を合わせ、約70名程度の会員の皆さんに参加いただきました。

(5) 東京會館でのそば打ち教室開講

東京日比谷の東京會館が行っている料理教室の1dayレッスンとして、そば打ち教室を行いました。当センターの道具一式を東京會館に持込み、板倉副理事長によるそば打ちの講義、会員の指導によるそば打ち、試食を行いました。定員一杯の32名の方に参加いただき、大変な好評をいただきました。道具を運び出し、研修センター以外の場所での活動は初めての試みであり、課題もありますが、定期的な活動に結び付けたいと思います。

7 高段位を対象とした技術向上講座の開講

四段位及び五段位を目指す会員を対象として、4月から一年間通年で技術向上講習を4期（一期は3か月6回）開催しました。各期で参加者にばらつきがありますが、

ほぼ定員に近い130名の会員に参加していただきました。

また、首都圏支部の五段位取得者に、講師として毎回5名程度参加していただいたところ です。

なお、研修センターの5年度利用実績は、別添資料のとおりです。

昨年度実績1,202人を700人ほど上回る(6割増)約延べ1,900人に利用していただきました。

第2号議案 令和5年度（一社）全麵協決算報告（案）・監査報告

Ⅰ 収入の部

単位:円

勘定科目		令和5年度	令和4年度	比較増△減	5年度決算額 の内容
大科目	中科目	決算額①	決算額②	①-②	
1 会費収入					
	地方公共団体正会員会費	810,000	450,000	360,000	9団体
	正会員会費 基準会費	4,050,000	4,065,000	△ 15,000	270団体
	正会員所属個人会員会費	9,114,000	9,469,000	△ 355,000	4557名
	特別個人会員会費	700,000	768,000	△ 68,000	140名
	企業会員会費	450,000	400,000	50,000	6社（9口）
	入会金	130,000	150,000	△ 20,000	うち6団体は4年度振替分
会費収入計		15,254,000	15,302,000	△ 48,000	
2 事業収入					
	四段位書類審査料	494,000	672,000	△ 178,000	247名×@2,000
	五段位一次審査料	1,359,000	399,000	960,000	一次審査534千円178名、学科試験825千円165名
	四段位実技審査受験料	5,120,000	5,580,000	△ 460,000	256名×@20000
	五段位実技審査受験料	3,360,000	2,400,000	960,000	112名×@30000
	六・七段位審査受験料	900,000	1,250,000	△ 350,000	6段位受験15名、7段位受験3名 18名×@50000
	審査員更新・新規手数料	490,000	215,000	275,000	地方審査員13名、特任・全国審査員12名
	指導員任用・更新手数料	525,000	3,705,000	△ 3,180,000	3級指導員任命等105名
	そば教室受講料	3,598,450	2,698,370	900,080	高段位講習・夜間・一般教室、見学会等
	認定講習会受講料	1,324,000	4,170,000	△ 2,846,000	各支部四段位認定講習会
	段位認定料				
	初段位	1,771,000	1,488,000	283,000	
	二段位	2,206,000	2,391,000	△ 185,000	約370名
	三段位	2,640,000	2,544,000	96,000	220名
	四段位	3,760,000	3,420,000	340,000	188名
	五段位	2,070,000	1,290,000	780,000	69名
	六・七段位	1,700,000	2,650,000	△ 950,000	六段位14名、七段位3名
	段位認定料計	14,147,000	13,783,000	364,000	
	直轄事業参加費	12,670,000	0	12,670,000	30記念大会9,200千円 懇親会1,810千円 五段大会1,650千円
	物品販売				
	教本等	138,100	187,700	△ 49,600	単位取得手帳、教本等
	そば粉等	18,313,045	14,008,362	4,304,683	そば粉等の売上
	グッズ	199,080	271,300	△ 72,220	30大会DVD、前掛け、バッヂ等
	その他	0	4,800	△ 4,800	
	物品販売計	18,650,225	14,472,162	4,178,063	
	研修センター利用料	543,060	398,550	144,510	会員によるセンター利用
	広告料	2,220,000	1,301,000	919,000	30記念誌1,140千円、五段位大会990千円
事業収入計		65,400,735	51,044,082	14,356,653	
寄付金収入		2,485,000	1,371,738	1,113,262	五段大会役員等1,335千円、東川町500千円、センター180千円
雑収入		1,548,645	2,101,147	△ 552,502	30大会補助金等945千円、五段大会協賛金等767千円、その他438千円
当期収入合計(A)		84,688,380	69,818,967	14,869,413	
前期繰越額(B)		27,858,117	29,539,222	△ 1,681,105	
収入合計(C)=(A)+(B)		112,546,497	99,358,189	13,188,308	

II 支出の部

単位:円

勘定科目		令和5年度 決算額①	令和4年度 決算額②	比較増△減 ①-②	5年度決算額の内容
大科目	中科目				
事業費					
企画部・ 広報等	全国会員交流大会（そば大学）	189,562	2,290,780	△ 2,101,218	尾道大会(会場借上、チラシ作成、調整旅費等)
	5支部主催そば大学費	183,516	0	183,516	横手、北海道そば大学旅費
	会員研修費	310,060	0	310,060	人材研修関係者旅費等
	ホームページ維持管理費	924,000	847,000	77,000	ホームページ維持管理
	国際交流事業費	50,000	0	50,000	韓国そば生産地現地研修費
	単位取得制度経費		275,000	△ 275,000	
	小計	1,657,138	3,412,780	△ 1,755,642	
地域振興 部	地域活性化支援事業費	726,861	915,667	△ 188,806	小淵沢フォーラム助成、理事長杯、東川町、平塚等旅費
	小計	726,861	915,667	△ 188,806	
段位認定 部	全国認定会（四段位）費	3,355,871	4,322,377	△ 966,506	5支部認定会開催経費
	全国認定会（五段位）費	3,174,266	3,222,243	△ 47,977	北海道新得町認定会開催経費
	全国認定会（六段位）費	471,433	794,275	△ 322,842	六・七段位選考会開催経費
	特別認定会(初・二段)費	104,080	238,251	△ 134,171	伊勢原、四国認定会旅費
	五段位認定者研修会費	89,627	0	89,627	平塚開催経費一部補助
	地方審査員任用講習会費	0	10,000	△ 10,000	
	四段位認定講習会費	1,138,963	1,275,623	△ 136,660	各支部開催経費
	五段位認定講習会費	581,504	1,287,309	△ 705,805	開催経費
	小計	8,915,744	11,150,078	△ 2,234,334	
指導普及 部	指導員運用費	154,724	20,280	134,444	指導旅費等
	そば打ち高校選手権協賛費	200,000	200,000	0	開催協賛金（定額）
	子供そば打ち体験事業費	149,345	54,259	95,086	6団体
	そば教室費	2,016,321	1,627,063	389,258	研修センター教室・講習会
	小計	2,520,390	1,901,602	618,788	
直轄事業費	直轄事業費	16,256,067	2,317,997	13,938,070	30周年記念大会、五段位全国大会他
	小計	16,256,067	2,317,997	13,938,070	
会費徴収手数料		4,105,000	4,110,737	△ 5,737	五支部会費徴収手数料
仕入費		14,257,223	10,142,824	4,114,399	そば粉販売仕入れ
事業費計		48,438,423	33,951,685	14,486,738	

II 支出の部

単位:円

勘定科目		令和5年度 決算額①	令和4年度 決算額②	比較増△減 ①-②	5年度決算額の内容	
大科目	中科目					
管理費						
		人件費	6,958,406	5,531,150	1,427,256	事務局員給与
		外注費	2,065,522	1,857,946	207,576	会員、段位認定等データ入力業務
		会議費	1,059,111	653,620	405,491	総会会場借上げ等
		旅費交通費	6,152,931	6,240,663	△ 87,732	理事会、事務局等
		通信費（電話、郵便、I/N）	1,230,264	1,155,401	74,863	郵便、宅配等
		事務費（消耗品費）	1,066,255	930,313	135,942	事務局等
		表彰費	240,000	440,000	△ 200,000	理事慰労金等
		手数料	197,859	256,065	△ 58,206	振込み手数料等
		交際費	192,438	79,890	112,548	祝儀、土産等
		維持費（システム管理料）	658,004	946,808	△ 288,804	インターネット関連等
		保険料	332,081	78,916	253,165	労働保険等
		委託費	1,031,216	416,544	614,672	顧問料、会計事務所、ごみ処分等
		諸会費	73,520	80,000	△ 6,480	和食国民会議等会員会費
		維持費（事務所等借用料）	5,948,630	6,365,526	△ 416,896	神保町事務所、研修センター
		リース料	3,313,053	3,380,084	△ 67,031	複写機、サーバー等
		積立金	0	6,000,000	△ 6,000,000	
		会員登録管理システム費	924,000	1,400,661	△ 476,661	会員登録システム維持費
管理費計		31,443,290	35,813,587	△ 4,370,297		
法人税等支出		10,812	70,000	△ 59,188	法人税	
消費税等支出		955,000	1,664,800	△ 709,800	納付消費税	
当期支出合計 (D)		80,847,525	71,500,072	9,347,453		
当期収支差額(E)=(A)-(D)		3,840,855	△ 1,681,105	5,521,960		
次期繰越額(F)=(C)-(D)		31,698,972	27,858,117	3,840,855	前受金16,529千円等を含む	
支出合計(D)+(F)		112,546,497	99,358,189	13,188,308		

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	42,040,927	44,262,065	△ 2,221,138
流動資産合計	42,040,927	44,262,065	△ 2,221,138
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
工具器具備品	81,822	162,552	△ 80,730
敷金	1,519,696	1,519,696	0
保険積立金	1,014,840	761,130	253,710
その他の固定資産合計	2,616,358	2,443,378	172,980
固定資産合計	2,616,358	2,443,378	172,980
資産合計	44,657,285	46,705,443	△ 2,048,158
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	16,529,000	21,434,000	△ 4,905,000
預り金	10,149	19,190	△ 9,041
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	1,221,900	1,077,900	144,000
流動負債合計	17,831,049	22,601,090	△ 4,770,041
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	17,831,049	22,601,090	△ 4,770,041
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	26,826,204	24,104,353	2,721,851
一般正味財産	26,826,204	24,104,353	2,721,851
正味財産合計	26,826,236	24,104,353	2,721,883
負債及び正味財産合計	44,657,285	46,705,443	△ 2,048,158

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収入	15,254,000	0	15,254,000
地方公共団体正会員会費	810,000	0	810,000
正会員会費 基準会費	4,050,000	0	4,050,000
正会員所属個人会員会費	9,114,000	0	9,114,000
特別個人会員会費	700,000	0	700,000
企業会員会費	450,000	0	450,000
入会金	130,000	0	130,000
事業収益	0	65,400,735	65,400,735
四段位書類審査料		494,000	494,000
五段位一次審査料		1,359,000	1,359,000
四段位実技審査受験料		5,120,000	5,120,000
五段位実技審査受験料		3,360,000	3,360,000
六段位審査受験料		900,000	900,000
審査員更新・新規手数料		490,000	490,000
そば教室受講料		3,598,450	3,598,450
初段位認定料		1,771,000	1,771,000
二段位認定料		2,206,000	2,206,000
三段位認定料		2,640,000	2,640,000
四段位認定料		3,760,000	3,760,000
五段位認定料		2,070,000	2,070,000
六段位認定料		1,700,000	1,700,000
教本・単位取得手帳販売代		138,100	138,100
そば粉等販売代		18,313,045	18,313,045
グッズ販売代		199,080	199,080
直轄事業参加費		12,670,000	12,670,000
研修センター利用料		543,060	543,060
広告料		2,220,000	2,220,000
指導員任用・更新手数料		525,000	525,000
任用講習会受講料		1,324,000	1,324,000
寄付金収入	2,485,000	0	2,485,000
寄付金収入	2,485,000	0	2,485,000
雑収益	66	1,548,579	1,548,645
受取利息	66	285	351
雑収益		1,548,294	1,548,294
経常収益計	17,739,066	66,949,314	84,688,380

正味財産増減計算書内訳表
令和5年4月1日から令和6年3月31日

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	合 計
(2)経常費用			
事業費	6,970,508	29,387,592	36,358,100
全国会員交流大会	189,562	0	189,562
5支部主催そば大学費	183,516	0	183,516
会員研修費	310,060		310,060
ホームページ維持管理費	924,000		924,000
国際交流事業費	50,000		50,000
地域活性化支援事業費	726,861		726,861
全国認定会(四段位)費	0	3,355,871	3,355,871
全国認定会(五段位)費	0	3,174,266	3,174,266
全国認定会(六段位)費	0	471,433	471,433
特別認定会(初・二段位)費	0	104,080	104,080
五段位認定者研修会費	0	89,627	89,627
四段位認定講習会費	0	1,138,963	1,138,963
五段位認定講習会費	0	581,504	581,504
指定指導員運用費	0	22,560	22,560
そば打ち高校選手権共催費	200,000	0	200,000
子供そば打ち体験事業費	149,345	0	149,345
直轄事業費		16,256,067	16,256,067
そば教室費		2,016,321	2,016,321
手打ちそば普及指導費	132,164	0	132,164
会費徴収手数料	4,105,000	0	4,105,000
消費税等		2,176,900	2,176,900
管理費	5,938,124	39,600,221	45,538,345
人件費	1,316,023	5,642,383	6,958,406
外注費	390,646	1,674,876	2,065,522
会議費	200,307	858,804	1,059,111
旅費交通費	1,163,686	4,989,245	6,152,931
通信費(電話、郵便、I/N)	270,957	959,307	1,230,264
事務費(消耗品費)	201,658	864,597	1,066,255
表彰費	45,391	194,609	240,000
手数料	33,454	164,405	197,859
交際費(慶弔費)	34,353	158,085	192,438
システム管理料	124,446	533,558	658,004
保険料	14,822	63,549	78,371
委託費	195,031	836,185	1,031,216
租税公課	2,045	8,767	10,812
諸会費	13,905	59,615	73,520
事務所、研修センター借用料	1,125,047	4,823,583	5,948,630
リース料	626,588	2,686,465	3,313,053
減価償却費	5,012	75,718	80,730
会員登録管理システム費	174,753	749,247	924,000
仕入費	0	14,257,223	14,257,223
経常費用計	12,908,632	68,987,813	81,896,445
評価損益調整前経常増減額	4,830,434	△ 2,038,499	2,791,935
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	4,830,434	△ 2,038,499	2,791,935
2.経常外増減の部			0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減	4,830,434	△ 2,038,499	2,791,935
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,830,434	△ 2,038,499	2,791,935
法人税、住民税及び事業税	10	70,042	70,052
一般正味財産増減額	4,830,424	△ 2,108,541	2,721,883
一般正味財産期首残高	33,886,578	△ 9,782,225	24,104,353
一般正味財産期末残高	38,717,002	△ 11,890,766	26,826,236
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
III 正味財産期末残高			0
正味財産期末残高	38,717,002	△ 11,890,766	26,826,236

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当する事項はない。

2. 重要な会計方針

(1) 公益法人会計基準の適用

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 改正平成21年10月16日内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産・・・定率法を採用している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方法によっている。

3. その他

預金には、令和6年度の会費収入等16,529千円が含まれている。

令和5年度 監査報告

1. 財務状況

令和6年5月8日に提出された令和5年度決算報告書、諸帳票、関係書類を監査しましたところ、適正かつ正確に執行されているものと認められましたことを報告いたします。

2. 業務執行状況

全麵協設立30周年記念事業の「第3回一般公開そば大学 in 富山」及び「第1回全麵協そば道五段位全国大会」を始めとして計画されました業務につきましては概ね順調に執行され、所期の成果が出ていると認めます。

引き続き、事業計画及び予算、諸規程を遵守した執行に努めてください。

令和6年5月8日

監事 大野 和則 

監事 高谷 晶美 

第3号議案

一般社団法人全麵協定款の一部改正新旧対照表

(傍線の部分が改正部分)

改正後	改正前
<p>第2章 会 員 (種 別)</p> <p>第8条 当法人の会員は次の4種とし、<u>第1号から第3号までの</u>正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。</p> <p>(1) 正会員 当法人の目的に賛同して入会し、<u>当法人の総会で定める</u>会費を納入している団体</p> <p>(2) 地方公共団体正会員 当法人の目的に賛同して入会した地方公共団体で、当法人の総会で定める会費を納入している地方公共団体</p> <p><u>(3) 公共的団体正会員 当法人の目的に賛同して入会した公共的団体で、当法人の総会で定める会費を納入している公共的団体</u></p> <p>(4) 地方公共団体賛助会員 当法人の目的に賛同して入会し、当法人の活動と連携賛助する地方公共団体</p> <p>(5) 一般企業等賛助会員 当法人の目的に賛同して入会し、当法人の総会で定める会費を納入し、当法人の活動に協力賛助する団体</p> <p>(構 成)</p> <p>第16条 社員総会は、すべての正会員、<u>地方公共団体及び公共的団体</u>正会員をもって構成する。</p>	<p>第2章 会 員 (種 別)</p> <p>第8条 当法人の会員は次の4種とし、(1)と(2)の正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。</p> <p>(1) 正会員 当法人の目的に賛同して入会し、当法人の総会で定める会費を納入している団体</p> <p>(2) 地方公共団体正会員 当法人の目的に賛同して入会した地方公共団体で、当法人の総会で定める会費を納入している地方公共団体</p> <p>(3) 地方公共団体賛助会員 当法人の目的に賛同して入会し、当法人の活動と連携賛助する地方公共団体</p> <p>(4) 一般企業等賛助会員 当法人の目的に賛同して入会し、当法人の総会で定める会費を納入し、当法人の活動に協力賛助する団体</p> <p>(構 成)</p> <p>第16条 社員総会は、すべての正会員および地方公共団体正会員をもって構成する。</p>

第3号議案

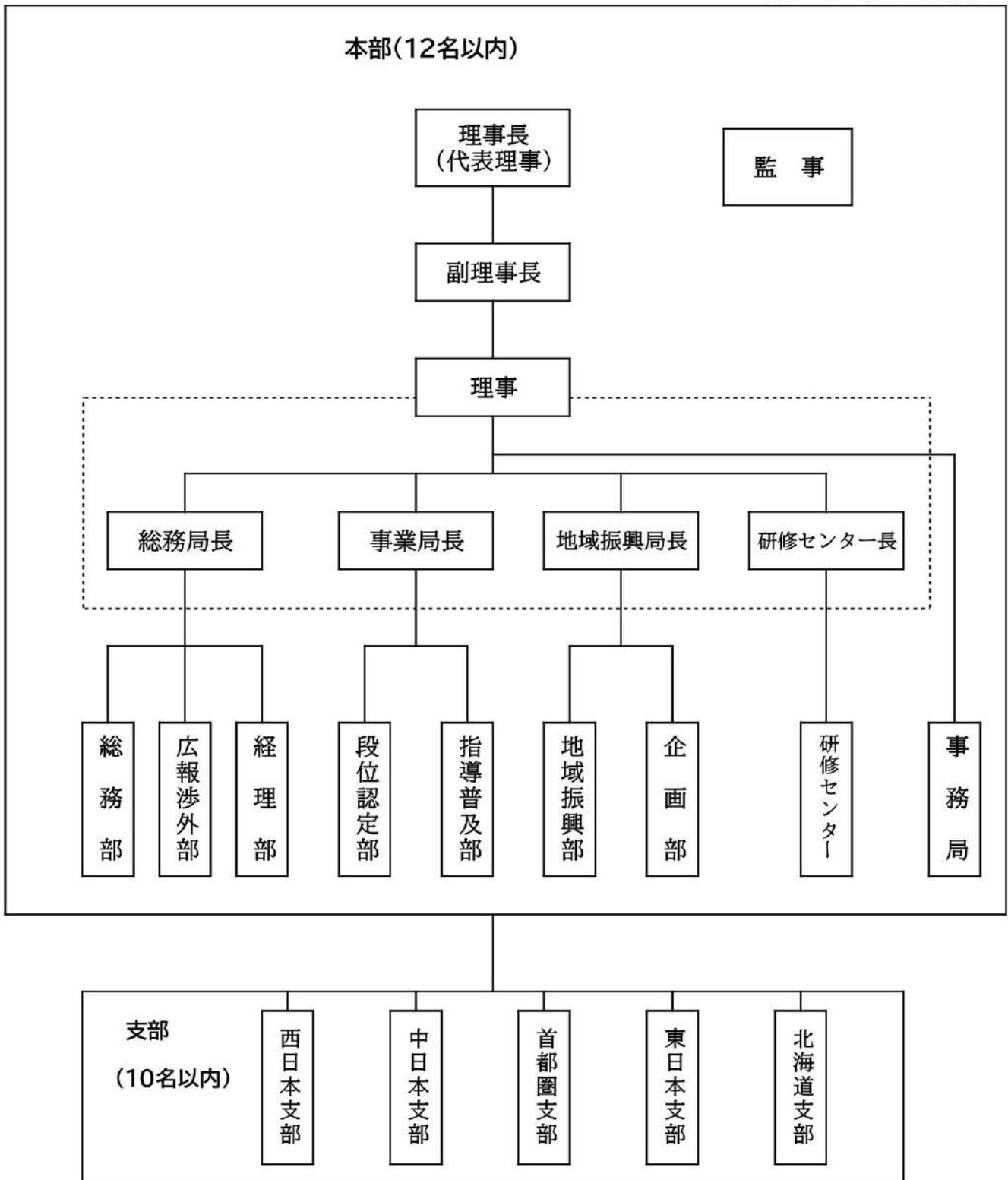
一般社団法人全麵協定款の一部改正新旧対照表

(傍線の部分が改正部分)

改正後	改正前
<p>(議決権の数)</p> <p>第16条の1 社員総会における議決権の数は、以下による。</p> <p>(1) 正会員の団体に加入所属しており、当法人の趣旨に賛同して総会で定める規定により当該団体の個人会員として納入基準額を当該年4月1日までに納入している者の人数に応じて次の区分による票数を使用することができるとする。</p> <p>1 人から 99 人まで 1 票 100 人から 149 人まで 2 票 150 人から 199 人まで 3 票 200 人から 249 人まで 4 票 250 人以上 5 票</p> <p>ただし、一団体会員5票をもって最高とする。</p> <p>(2) 地方公共団体正会員及び公公共的団体正会員の議決権は、各1票とする。</p>	<p>(議決権の数)</p> <p>第16条の1 社員総会における議決権の数は以下による。</p> <p>(1) 正会員の団体に加入所属しており、当法人の趣旨に賛同して総会で定める規定により当該団体の個人会員として納入基準額を当該年4月1日までに納入している者の人数に応じて次の区分による票数を使用することができるとする。</p> <p>1 人から 99 人まで 1 票 100 人から 149 人まで 2 票 150 人から 199 人まで 3 票 200 人から 249 人まで 4 票 250 人以上 5 票</p> <p>ただし、一団体会員5票をもって最高とする。</p> <p>(2) 地方公共団体正会員の議決権は1票とする。</p>
<p>(部局の設置)</p> <p>第38条 理事会の業務を執行する機関として局、部、部会及び事務局を設置する。</p> <p>2 部局に関する事項は、理事会が決定する。</p>	<p>(部局の設置)</p> <p>第38条 理事会の業務を執行する機関として部、部会及び事務局を設置する。</p> <p>2 部局に関する事項は理事会が決定する。</p>
<p>附 則</p> <p>この定款は、令和6年6月17日から施行し、令和6年度の事業から適用する。</p>	

全麵協 組織改正案

令和6年6月16日現在



第4号議案 令和6年・7年度（一社）全麵協役員選任（案）

(50音順)

	氏 名	所 属	区 分
本部推薦理事	赤羽 章司	中日本支部	再
	井 敏朗	中日本支部	再
	小関 純	首都圏支部	新
	篠原 美文	西日本支部	新
	中谷 信一	中日本支部	再
	西川 朋子	中日本支部	新
	萩原 敏彦	首都圏支部	再
	山本 良明	北海道支部	再
	横田 節子	首都圏支部	再

	氏 名	所 属	区 分
支部推薦理事	守田 秀生	北海道支部	再
	塚越 智	北海道支部	再
	芳田 時夫	東日本支部	再
	水野 敏雄	東日本支部	新
	腰原 弘敏	首都圏支部	再
	土屋 照雄	首都圏支部	再
	田中 崇喜	中日本支部	再
	中村 常実	中日本支部	新
	米田 隆一	西日本支部	再
	入江 一統	西日本支部	新

	氏 名	所 属	区 分
監事	井出 一男	中日本支部	新
	諏訪 芳一	西日本支部	新

第5号議案 令和6年度(一社)全麵協事業計画(案)

【はじめに】

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症は「5類感染症」となりましたが、「ロシア・ウクライナ戦争」に加え、新たにパレスチナ・イスラエル戦争や今年元日に発生した能登半島地震は広範囲に甚大な災害が発生し、多くの人命や家屋などが失われる激甚災害となりました。日本国内はもとより世界平和も大きく揺らぐ国内外ともに不安の絶えない1年間でありました。令和6年度は、国内のコロナウイルス感染者減少から、コロナ以前の社会に戻りつつあり、「コロナ感染症」以前にも増しての社会活動が期待されております。

さて、一般社団法人全麵協は、設立30年の節目を迎え、待望の30周年記念式典を盛大に執りおこなうことができました。5月27日(土)～28日(日)富山県富山市の国際会議場において、一般社団法人全麵協の設立30周年記念式典並びに第3回一般公開そば大学in富山(兼四段位・五段位認定講習会)が盛大に開催されました。当日は全国から500名を超える会員の皆様が集い、さらには一般市民も多数来場いただき、厳粛かつ盛大な式典を挙行することができました。来賓といたしましては、スロヴェニア共和国大使、韓国李孝石文學宣揚会代表、富山県副知事はじめ多数のご臨席を賜りました。

また、11月8日には、東京都立産業貿易センター浜松町館において、【第1回全麵協そば道五段位全国大会in東京】を開催いたしました。当日は全国から78名の五段位認定者が集い、更には一般市民の皆様も多数来場いただき、盛大に記念事業として執り行うことができました。このように、設立以来多事多難を克服し発展することができましたのは、これもひとえに会員の皆様はじめ、「そば道段位」有段者の皆様並びに関係団体の温かいご支援と、ご指導の賜物と心より厚く感謝申し上げます。

【経営基本方針】

今年、干支の昇竜年にあたります。全麵協は、新たな歴史を刻むに相応しい飛躍の一年とするために、「そば道の基本理念・憲章」を指針として、引き続き発展に向け英知と実践力と協同力をもって着実に歩みを進めたく願っております。

新たなことにも果敢に挑戦して行くことが、極めて大事であると思います。昨年に続き、今年の5月25日(土)、26日(日)広島県尾道市に於いて「第4回そば大学in尾道」を開催いたします。

また、長年考え取組みたいこととして「手打ちそばがなぜ美味しいと云われるのか」を科学的に探究することに着手したいと思います。さらに、そば道段位認定事業等に関わる、

5 支部との連携による普及活動、知識と実技講座、そば打ち仲間との交流、そばによる地域振興、そば文化国際交流など、一層の充実、拡大に努める思いを強くいたしております。本部、支部共に財政基盤の安定と事務処理体制の充実に引き続き取り組んでまいります。

以下の「重点方策」の実行に向けて、大きな成果の得られる令和6年度を目指します。

【重点方策】

1 全麵協「そば道の基本理念・憲章」の周知に努めます。

平成28年7月に宣言した憲章を理解し行動の指針としての認識、周知を本部・支部の年間事業を通して行うことに努めます。

2 そば道段位認定事業の改善と発展に引き続き取り組みます。

依然として、我が国の人口の減少や高齢化が進むなか、基幹事業である「そば道段位認定」受験者の減少が深刻化しており、受験環境や審査方法等の改善を図ります。

そば打ち技術の向上を一層高めるために、指導者育成と指導体制の拡充を図り、質の高い認定制度を確立します。

3 全麵協の次の時代を担う人材の育成に取り組みます。

全麵協5支部より全麵協の運営に意欲的な人材を求め、ともに組織の運営についての関わりや、理解度を高める機会を設け、組織にとってリーダーとなる人材育成に積極的に取り組みます。

4 時代の著しい変化に対応するため全麵協の組織の改善に努めます。

全麵協本部、支部ともに名称の改変や、支部会員会費制度並びに組織体制の改善について引き続き検討を進めます。

5 全麵協の段位認定者の少ない(空白地帯)と云われている地域の解消につとめます。

各支部における空白地帯の解消、改善に向けての支部の取り組みに対し、物心両面の支援を行います。

6 本部・支部の事務局の強化を図ります。

本部・支部ともに安定財源の確保と会計事務処理等の事務の統一化や若手職員の確保、事務全般の合理化を進めます。

7 研修センターの活用促進及び継続の有無について検討を行います。

研修センターの利用・活用を強化させることと並行して、昨年にも増してそば打ち教室、実技研修会、更科そば打ち研修、そば打ち+plus等を積極的に開催し、そば愛好者の発掘と、インバウンドへの試行を行い、全麵協の活動拠点となるよう努めます。費用対効果についても引き続き検討を行います。

8 「手打ちそばはなぜ美味しいか」を科学的に解き明かします。

今年度から、人はみんな「手打ちそば」を食べると、同じように“美味しいと”

いのかを専門家の協力をいただき1年～2年かけて、できるだけ科学的に探究する。できれば出版物となること目指します。

9 そばに関わる「海外の視察交流」を再開いたします。

海外への渡航や観光の動向もコロナ以前の状況に戻りつつあることから、コロナ以前に行っていた海外研修、視察交流を再開いたしたく考えております。

10 全麺協30周年記念事業の事業記録書を作成します。

全麺協35周年、40周年の節目の記念事業の参考資料に資する記録書を作成します。

11 認定職業訓練施設の認定を受けるため取り組みます。

手打ちそば専門訓練施設としての認定を受けるための調査研究に取り組みます。

12 そば道名人大会と技能研修会の開催を検討します。

各支部で行われている名人戦の出場者から選抜した名人大会を開催したり、技能の習熟を図る機会を設けたりする方法・課題について検討します。

【総務部】

『事務局』

1 第11回定時社員総会の適正な管理と執行

開催日時：令和6年6月16日（日）午後2時～午後4時

開催場所：如水会館

2 第4回一般公開そば大学 in 尾道（兼段位認定講習会）

開催日時：令和6年5月25日（土）～26日（日）

開催場所：広島県尾道市 しまなみ交流館

3 研修センターの効果的活用と適正な管理

4 各支部との連携強化

(1) 会計事務の統一化

5 全麺協正会員の実態把握と新規入会への積極的推奨

(1) 正会員の構成および活動実態の把握

(2) 各支部と連携して新規加入会員の掘り起こしと加入促進を図る

6 ZEN 麺ライセンス規約の適正な運用管理

7 次世代の人材育成

『データ担当』（一部外部委託）

1 段位認定登録者名簿の適正管理

- 2 会費納入規程に基づく納入者の点検と確認
- 3 個人情報の管理徹底

【経理部】

- 1 適正な予算執行と管理
- 2 正会員会費及び個人会員・特別個人会員会費の確実な徴収
- 3 予算書経理状況の把握と理事会への報告

【広報渉外部】

全麵協本部及び支部の情報を的確に会員に提供する事に努めます。そのために、ニュースフラッシュの編集、HP、Facebook、LINE を活用した情報発信に取り組みます。

- 1 ホームページ、Facebook などの SNS による迅速で正確な情報発信と提供を図る。
 - (1) 支部活動についての情報を【ニュースフラッシュ】に吸い上げ編集を行う。
 - (2) 速報性及び対外的に必要性のある事項についてはホームページで随時発信

2 本部主催行事の広報活動。

主管支部と連携した広報活動支援の実施（五段位認定会冊子作成、そば大学開催支援活動）

3 Facebook のグループ「そば仲間」による全麵協会員の交流促進

Facebook「そば仲間」は会員が直接出会わなくても自由且つ、広域で情報提供、交流ができるように開設されています。投稿者の拡大と交流する会員数の増加を図ります。

4 本部・支部「広報担当者会議」を継続開催して連携強化を図る。

- (1) ホームページにおける支部活動状況掲載の拡充を図る。
- (2) Zoom 会議による本部・支部「広報担当者会議」の実施で、情報共有を図る。

5 行政機関、社会教育関連団体等との連携強化

- (1) 本部は中央省庁への働きかけを継続して実施し、全麵協の周知を図る。
- (2) 支部は都道府県、市町村へ全麵協の周知活動を継続して実施する。
- (3) 関係団体（地域活性化センター、和食文化国民会議等）及び社会教育関係団体（全国公民館連合会、日本青少年団協議会等）との連携関係を継続します。

【地域振興部】

全麵協の基本的かつ重要な事業として位置づけられる「地域振興活動」は、日常的に進めることが重要であり、とくに会員が少ない地域においては優先的な支援が求められている。このような観点から、新年度はこれまでの事業を継続しつつ、地域振興重点地域を定

めて集中的に支援して行く。

1 地域振興重点地域の支援事業

前年度に「五段位認定者研修会」が開催された神奈川県平塚市には、潜在的に多くのそば打ち愛好者がおり、神奈川県全体での全麵協会員獲得のために、地域振興部として積極的に支援を展開する。

2 地域活性化事業の推進

全麵協の会員が少なく、そばによる地域振興が低調な地域に対して、地域振興部として普及活動を展開する。具体的には、全麵協の基本方針や活動内容を紹介し、併せて指導普及部と連携して技術講習会等を開催する。

3 地域交流フォーラムの共催

7月20～21日に山梨県小淵沢町で開催予定の「地域交流フォーラム in 小淵沢」について、企画部と共催して「セミナー及びそば料理コンテスト」を実施する。

4 全麵協支援による新そば祭りへの参加

前年度に引き続き、「利賀新そばを味わう祭り（10月26～27日開催）」に出店協力し、地域の活性化と共に、全麵協への利益還元を図る。従来のそば祭りは、出店者の利益追求が目的であったが、今後は必要経費を除いて出店者はボランティア参加とし、その代償としてそば祭りの主催者は売り上げの一部を全麵協に還元するという方式を試みる。

【企画部】

昨年度に引き続き全麵協各支部で活躍している女性会員で構成する全国的なネットワークの基盤を整え、女性や若者の会員増強につながる事業を模索する。

また、前年度に携わった事業を継続し、より魅力ある内容を企画する。

1 女性会員のネットワーク化の整備

各支部の女性会員のネットワークを整え、全麵協活動の普及と会員増強につながる事業を企画する。

2 地域交流フォーラムの主催

前年度、山梨県小淵沢町で開催した「地域交流フォーラム」を引き続いて、本年度も7月20日～21日山梨県小淵沢町を開催する。併せて「第2回そば料理コンテスト」を企画運営して、広く会員の参加を呼び掛ける。

3 全麵協そば道女流そば打ち名人大会の開催

前年度まで「地域交流フォーラム」の一環として開催してきた「女流そば打ち名人大会」を、本年度から各支部持ち回りで開催していく。担当支部が主管となり、地域

振興部等と連携を図り実施する。第1回目に当たる本年度は、西日本支部主管で、令和7年3月22日姫路市を予定している。

【段位認定部】

- 1 「そば道段位認定制度規程」の趣旨を広く広報し、そば道段位認定制度の拡充を図る。
 - (1) 段位認定制度の完成度を一層高めるため、受験者の高齢化に伴う受験方法の見直しや技能審査方法の改善
※五段位筆記試験については、昨年同様講習会を開催し、即時筆記試験を行うこととする。各支部において実施し、同日同時刻開催とする。
 - (2) 段位認定制度による段位認定者の増強拡大（小規模認定会の許認可）
受験者数も多くはないが各団体により初段位・二段位認定会を開催
 - (3) 段位認定制度の普及促進
 - ①各支部と連携して空白地域における段位認定者の増強
 - ②指導普及部及び指導員と連携し、そば打ち愛好者の段位未認定者の掘り起し活動の推進と全麵協正会員所属内における未認定者への段位認定受験勧奨活動の推進
 - ③全麵協正会員団体に所属していないそば愛好者に対する働きかけの推進
 - ④特別個人会員三段位認定者に対する正会員団体への個別具体的な斡旋の推進（支部主体となり個別具体的な斡旋の実施）
 - ⑤「全麵協そば道段位認定会支援システム」のExcelバージョンを活用する。
 - (4) 特任審査員の活動分野の拡充
 - ①四段位審査員長として採用し、各支部に派遣する。
 - ②五段位審査員としての採用
 - (5) 全国審査員の任用
全国審査員の任用増強 4月から各支部推薦の全国審査員を任用する。
 - (6) 地方審査員の審査機会の創出審査制度の向上
各支部において選任された認定会審査員名簿を各支部段位認定部会において管理し、本部においても精査する。
 - (7) 各審査員の更新手続きを行う。
特任審査員・全国審査員・地方審査員
 - (8) 地方審査員の任用を行う
五段位認定者を初めて対象にした任用を行う。
任用講習会は、「そば大学 in 尾道」と併せて開催する。
 - (9) そば道段位認定制度規程の広報と利用促進
各支部主催の「地方審査員審査技術研修会」に参画して「そば打ち教本」をテ

キストとして、そば道段位認定制度（特に技能審査チェックリスト項目）の広報活動を実施

(10) 六段位選考会の技能審査内容の見直し

(11) アフターコロナに対応した段位認定事業の実施⇒ガイドラインの取り扱い

2 本部・支部の連携強化

(1) 四段位認定講習会・認定会の支部移管

- ・ 段位認定制度運用・審査の均一性・公平性・透明性の担保（段位認定部が主体となって支部間格差を生じさせない様にする仕組みづくり）
- ・ 審査員は主催する支部からの選出だけでなく、本部からの審査員を含めて構成し、審査の公平性・平準化を図る。

(2) 段位認定部と各支部段位認定部との定期的な Zoom 会議による情報共有化

3 四段位認定講習会の開催

四段位認定会の各支部移管に伴い、四段位認定講習会も各支部にて開催

講習プログラムについては、そば大学のプログラムを活用するとともに各支部独自のプログラムを行う。

①北海道支部

開催日時：令和6年6月9日

開催場所：上川郡東神楽町

②東日本支部

開催日時：令和6年6月2日

開催場所：宮城県名取市

③首都圏支部

開催日時：令和6年7月6日

開催場所：東京都 麵業会館

④中日本支部

開催日時：令和6年7月6日

開催場所：富山県富山市

⑤西日本支部

開催日時：令和6年5月25日～26日

開催場所：広島県尾道市 しまなみ交流館

4 五段位認定講習会の開催

五段位認定講習会は、「そば大学 in 尾道」と併せて開催し、西日本支部四段位認定講習会（希望者は他支部からの参加も可）と合同で開催する。

開催場所：広島県尾道市 しまなみ交流館

5 そば道段位認定会の開催

(1) 五段位認定会の開催

【一次審査】

開催日時：尾道市において開催の五段位認定講習会終了時に受験希望参加者には関係書類を配布し、参加していない者には後日送付する。

【講習及び筆記試験】

開催日時：令和6年7月13日(土)～14日(日)

開催場所：各支部にて同日同時刻で実施する。

北海道支部：石狩市

東日本支部：宮城県名取市

首都圏支部：千葉県柏市

中日本支部：長野県塩尻市

西日本支部：兵庫県姫路市

【本審査会】

開催日時：令和6年11月8日(金)～10日(日)

開催場所：東京都台東区

(2) 四段位認定会の開催（事前審査含む）

①北海道支部

開催日時：令和6年11月17日

開催場所：北海道東神楽町

②東日本支部

開催日時：令和6年10月13日

開催場所：青森県階上町

③首都圏支部

開催日時：令和6年10月19日～20日

開催場所：埼玉県鴻巣市

④中日本支部

開催日時：令和6年9月22日

開催場所：福井県福井市

⑤西日本支部

開催日時：令和6年11月3日～4日

開催場所：大阪府大阪市

(3) 三段位認定会の開催

①段位認定部による技能審査員の選考

②集計結果の本部管理の設定

③開催場所

北海道支部：令和6年11月 3日	北海道幌加内町
令和7年 3月30日	北海道長万部町
東日本支部：令和6年11月 3日	栃木県日光市
令和6年11月17日	宮城県仙台市
令和6年11月30日	山形県寒河江市
首都圏支部：令和6年 5月19日	埼玉県吉見町
令和6年10月26日	千葉県成田市
令和7年 3月 7日	茨城県常陸太田市
中日本支部：令和6年10月12日	長野県松本市
令和6年11月 3日	富山県富山市
西日本支部：令和6年10月27日	兵庫県三田市
令和6年11月17日	大阪府堺市
令和6年11月17日	広島県尾道市

(4) 初段位、二段位認定会の開催

各主催者の計画に基づき全国各地で開催する。

新規開催及び空白地域での初開催については、全麵協本部にて支援する。

初段位受験者の特例受験料（3000円）については最終年度（令和7年3月31日まで）となるが、その効果の検証を行い今後に向けて検討する。

各支部における開催会場数（予定）

北海道支部：9会場

東日本支部：6会場

首都圏支部：5会場

中日本支部：4会場

西日本支部：7会場

(5) 六段位認定選考会の開催

開催日時：令和7年3月中旬

開催場所：東京都

対 象：五段位第6期

- (6) 七段位認定選考会の開催
 - 開催日時：令和7年3月中旬
 - 開催場所：東京都
 - 6 段位認定会における均一、統一的な高度な技能審査能力の向上
 - (1) 全国審査員研修会の開催
 - ①技能審査チェック項目の適正な運用
 - ②段位認定会審査員長としての役割についての研修会
 - 開催日時：令和6年8月
 - 開催場所：全麵協研修センター
 - (2) 新規五段位認定者研修会の開催
 - ①全麵協活動の理解を深めること
 - ②指導者としての資質と見識を高めること
 - 開催日時：未定
 - 開催場所：未定
- 令和5年度に認定された者を対象に研修会を開催

【指導普及部】

- 1 そば打ち技術向上のための研修・指導強化
 - (1) 指導普及部・五支部部長会議の開催
 - (2) 支部指導普及部による指導員一級・二級・三級研修会の開催
 - 研修会にて指導技術・理論を習得し、指導者として中心的役割を担って頂く。
 - (3) 高段位認定会受験者に対する研修会の開催
 - 三段位・四段位・五段位認定会受験者に対するそば打ち指導を実施する。
 - 支部指導普及部及び指導員一・二・三級で支部独自の研修会を開催する。
 - (4) 指導員三級任用講習会の開催支援
 - (5) 高段位認定者の活動機会の創出
 - ①研修センターにおける本部直轄事業の積極的活動の推進
 - ②全麵協認証そば打ち道場の増設による同所での指導の推進
 - ③そば博覧会、そば祭り等への参加勧奨、市町村、公民館との連携活動の推進
 - (6) 研修センター運営部と共同しそば打ち技術向上のための講座開設
- 2 全麵協認証そば打ち道場の整備（増設・強化）
 - (1) 認証そば打ち道場の開設促進

- (2) 新規入会者・初心者に対する技術指導の支援
- 3 全麵協研修センターの効率的活用（研修センター運営部と共同）
 - (1) 高段位受験希望者に対するそば打ち技術向上研修会の開催
 - (2) 高校生・大学生・社会人・企業・団体・外国人を対象とした、そば打ち教室の開催
- 4 若年層に対するそばの普及と啓発
 - (1) こどもそば打ち教室の増強
 - (2) そば打ち高校選手権大会（日麵連主催）開催に対する支援
- 5 地域振興部と共同して、段位認定者空白地域におけるそば打ち普及活動を強化する
- 6 そば打ち高校選手権大会出場校に対するそば打ち技術指導支援
- 7 郷土そばの映像保全
- 8 各支部講習会等の日程

北海道支部

四段位技術講習会（東神楽）	令和6年9月7日
五段位技術講習会（幌加内町）	令和6年9月14日
三段位技術講習会（幌加内町）	令和6年10月上旬
三段位技術講習会（道南地区）	令和7年2月上旬
指導員三級任用講習会（旭川市）	令和7年3月23日

東日本支部

そば打ち名人大会（ ）	令和 年 月 日
地方審査員技術講習会（ ）	令和7年2月 日
指導員三級任用講習会（ ）	令和7年3月上旬

首都圏支部

四段位技術講習会（東京都）	令和6年7月 日
地方審査員技術講習会（ ）	令和7年2月 日
指導員三級任用講習会（ ）	令和7年2月 日
第三回首都圏名人戦・団体戦（ ）	令和7年3月 日

中日本支部

四段位技術研修会（白馬村）	令和6年5月11・12日
地方審査員技術研修会（高山市）	令和6年6月8日
審査技術実践研修会（松本市）	令和6年8月4日
指導員指導技術講習会（松本市）	令和6年9月1日
指導員三級任用講習会（静岡県）	令和7年3月8日

西日本支部

四・五段位技術講習会（姫路市）	令和6年4月21日
地方審査員審査技術研修会（姫路市）	令和6年7月7日
三級指導員任用講習会（姫路市）	令和7年1月 日
支部団体戦・名人戦（姫路市）	令和7年3月22・23日

【研修センター】

令和6年度においては、以下の事業を予定しています。

- 1 センターが立地する台東区民を対象としたそば打ち教室の実施
 - (1) 関係団体と連携し、区民等を対象としたそば打ち体験教室を実施します。
 - (2) 近在の日本語学校の教科にそば打ち体験が組み込まれるよう努めます。
- 2 会員の利用
全麵協の会員の練習場として、またイベント会場として利用していただけるような利用方法等の検討を行います。
- 3 現役世代の新たな余暇活動への対応
夜間（平日の勤務終了後）のセンター利用について、引き続き行っていきます。
- 4 若者へのそばの普及
大学生を対象にそば打ち体験教室を行います。
- 5 多様なそば打ち活動の展開
 - (1) そば打ちプラス研究会の活動
研究会で研究・考案したメニューをデータ化し、蓄積するとともに、海外の蕎麦料理についても調査研究を行います。
考案したメニューについて、会員を対象とした調理実習（別途施設）講習を行います。
 - (2) さらしな・変わりそば講習会の開催
全麵協の段位認定の課題以外のそば打ちとして、さらしなそばや季節の食材を使った変わりそばの打ち方等の講習会を行います。
- 6 高段位を対象とした技術向上講習の開催
前年度に引き続き、高段位（四、五段位）を目指す会員を対象に高段位講習会を4期（1期は3カ月に6回）行うとともに、週末に集中的に行うことにより、遠距離者も参加しやすい講習会も開催します。
- 7 五段位学科試験講習会の開催
「そば打ち教本」をテキストとして学科試験に対応した研修会を開催します。

8 当センターの活用促進及び継続の有無について引き続き検討します。

インバウンドへの対応や座談会の実施、そば試食会・そば振舞い、そば打ち見学会等々多様な利用方法を検討し実施します。

第6号議案 令和6年度（一社）全麵協予算（案）

I 収入の部

単位:円

勘定科目		令和6年度	令和5年度	比較増△減	令和6年度予算額の説明
大科目	中科目	予算額①	決算額②	①-②	
1 会費収入					
	地方公共団体正会員会費	810,000	810,000	0	9団体(公的団体を含む)@90,000
	正会員会費 基準会費	4,110,000	4,050,000	60,000	274団体@15,000
	正会員所属個人会員会費	9,000,000	9,114,000	△ 114,000	4,500名@2,000
	特別個人会員会費	650,000	700,000	△ 50,000	130名
	企業会員会費	450,000	450,000	0	6社(9口) @50,000
	入会金	100,000	130,000	△ 30,000	過年度実績
会費収入計		15,120,000	15,254,000	△ 134,000	
2 事業収入					
	四段位書類審査料	500,000	494,000	6,000	意向調査等 約250名
	五段位一次審査料	1,200,000	1,359,000	△ 159,000	筆記試験手数料を含む 約150名
	四段位実技審査受験料	5,000,000	5,120,000	△ 120,000	過年度実績及び意向調査等 約250名
	五段位実技審査受験料	3,600,000	3,360,000	240,000	過年度実績及び意向調査等 約120名
	六・七段位審査受験料	750,000	900,000	△ 150,000	過年度実績15名
	審査員更新・新規手数料	287,000	490,000	△ 203,000	過年度平均
	指導員任用・更新手数料	550,000	525,000	25,000	過年度実績
	そば教室受講料	2,850,000	3,598,450	△ 748,450	過年度平均
	認定講習会受講料	1,320,000	1,324,000	△ 4,000	過年度実績
	段位認定料				
	初段位	1,550,000	1,771,000	△ 221,000	3か年実績平均等
	二段位	2,100,000	2,206,000	△ 106,000	3か年実績平均等 約350名
	三段位	2,580,000	2,640,000	△ 60,000	3か年実績平均等 約215名 @12,000
	四段位	3,840,000	3,760,000	80,000	3か年実績平均等 約192名 @20,000
	五段位	2,000,000	2,070,000	△ 70,000	過年度実績
	六・七段位	1,500,000	1,700,000	△ 200,000	前年度実績等15名@100,000
	段位認定料計	13,570,000	14,147,000	△ 577,000	
	直轄事業参加費	5,400,000	12,670,000	△ 7,270,000	尾道そば大学参加費、懇親会費
	物品販売				
	教本等	170,000	138,100	31,900	教本、単位取得手帳、尾道そば大学書籍販売
	そば粉等	18,000,000	18,313,045	△ 313,045	そば粉販売 前年度並み
	グッズ	200,000	199,080	920	前年度波
	物品販売計	18,370,000	18,650,225	△ 280,225	
	研修センター利用料	432,000	543,060	△ 111,060	2過年度実績等
	広告料	620,000	2,220,000	△ 1,600,000	尾道そば大学冊子、五段位冊子広告掲載料
事業収入計		54,449,000	65,400,735	△ 10,951,735	
寄付金収入		50,000	2,485,000	△ 2,435,000	
雑収入		50,000	1,548,645	△ 1,498,645	
当期収入合計(A)		69,669,000	84,688,380	△ 15,019,380	
前期繰越額(B)		30,550,867	27,858,117	2,692,750	前年度繰越金30,550,867円には前受金等17,687,049円を含む
収入合計(C)=(A)+(B)		100,219,867	112,546,497	△ 12,326,630	

II 支出の部

単位:円

勘定科目		令和6年度	令和5年度	比較増△減	令和6年度予算額の説明
大科目	中科目	予算額①	決算額②	①-②	
事業費					
企画部・ 広報等	全国会員交流大会費	0	189,562	△ 189,562	尾道そば大学費は直轄事業へ計上
	5支部主催そば大学費	0	183,516	△ 183,516	
	会員研修費	0	310,060	△ 310,060	
	企画部活動経費	200,000	0	200,000	所要額
	広報渉外関係費	300,000	0	300,000	所要額
	ホームページ維持管理費	996,000	924,000	72,000	3か年実績平均等
	国際交流事業費	50,000	50,000	0	スロベニア、モンゴル関連
	小計	1,546,000	1,657,138	△ 111,138	
地域振興 部	地域活性化支援事業費	300,000	726,861	△ 426,861	厚木、姫路等
	小計	300,000	726,861	△ 426,861	
段位認定 部	全国認定会（四段位）費	3,850,000	3,355,871	494,129	3カ年平均 5支部
	全国認定会（五段位）費	4,700,000	3,174,266	1,525,734	東京都台東区
	全国認定会（六段位）費	750,000	471,433	278,567	15名程度
	特別認定会(初・二段)費	100,000	104,080	△ 4,080	過年度実績
	五段位認定者研修会費	100,000	89,627	10,373	過年度実績
	四段位認定講習会費	1,100,000	1,138,963	△ 38,963	過年度実績
	五段位認定講習会費	750,000	581,504	168,496	過年度実績
	小計	11,350,000	8,915,744	2,434,256	
指導普及 部	指導員運用費	150,000	154,724	△ 4,724	過年度実績
	そば打ち高校選手権協賛費	200,000	200,000	0	過年度実績
	子供そば打ち体験事業費	150,000	149,345	655	過年度実績
	そば教室費	2,000,000	2,016,321	△ 16,321	過年度実績
	小計	2,500,000	2,520,390	△ 20,390	
直轄事業費		6,000,000	16,256,067	△ 10,256,067	尾道そば大学
会費徴収手数料		4,000,000	4,105,000	△ 105,000	過年度実績
仕入費		15,000,000	14,257,223	742,777	過年度実績
事業費計		40,696,000	48,438,423	△ 7,742,423	

II 支出の部

単位:円

勘定科目		令和6年度	令和5年度	比較増△減	令和6年度予算額の説明
大科目	中科目	予算額①	決算額②	①-②	
管理費					
	人件費	7,000,000	6,958,406	41,594	過年度実績
	外注費	2,000,000	2,065,522	△ 65,522	過年度実績
	会議費	750,000	1,059,111	△ 309,111	過年度平均
	旅費交通費	5,500,000	6,152,931	△ 652,931	理事会、事務局等
	通信費（電話、郵便、I/N）	1,200,000	1,230,264	△ 30,264	過年度実績
	事務費（消耗品費）	1,000,000	1,066,255	△ 66,255	過年度実績
	表彰費	400,000	240,000	160,000	理事退職慰労金等
	手数料	220,000	197,859	22,141	過年度実績
	交際費	100,000	192,438	△ 92,438	過年度実績
	維持費(システム管理料)	900,000	658,004	241,996	過年度実績
	保険料	320,000	332,081	△ 12,081	労働保険等
	委託費	1,150,000	1,031,216	118,784	顧問料、ゴミ処理等
	諸会費	80,000	73,520	6,480	和食国民会議会費等
	維持費(事務所等借用料)	6,000,000	5,948,630	51,370	過年度実績
	リース料	3,300,000	3,313,053	△ 13,053	過年度実績 複写機、サーバー等
	積立金	1,000,000	0	1,000,000	前年度積立分
	会員登録管理システム費	1,170,000	924,000	246,000	過年度実績
管理費計		32,090,000	31,443,290	646,710	
	法人税等支出	70,000	10,812	59,188	過年度実績
	消費税等支出	1,221,900	955,000	266,900	過年度実績
	当期支出合計(D)	74,077,900	80,847,525	△ 6,769,625	
	当期収支差額(E)=(A)-(D)	△ 4,408,900	3,840,855	△ 8,249,755	
	次期繰越額(F)=(C)-(D)	26,141,967	31,698,972	△ 5,557,005	
	支出合計(D)+(F)	100,219,867	112,546,497	△ 12,326,630	

添付資料-1 令和5年度 SOBA MEISTER 認証者

DIAMONDO SOBA MEISTER(1000単位) 13名

NO	単位	認証者	所属団体
1	1201	湊 弘美	北の郷 そば工房
2	1160	三村 幸彦	NPO法人信州そばアカデミー
3	1148	服部 涉	江別手打ちそば愛好会
4	1121	樽見 二三男	彩蕎一門会
5	1119	鈴木 光雄	さいたま蕎麦打ち倶楽部北本
6	1119	坂本 勝之	幌加内そば工房 坂本
7	1111	吉田 勝	分いしかり 札幌星置そば道場
8	1109	尾林 武雄	栃木のうまい蕎麦を食べる会
9	1108	塚越 智	いしかり手打ちそば同好会
10	1079	米田 隆一	そばうちくらぶ わくわく
11	1074	齋藤 スミ	とちぎ蕎和会
12	1034	朝山 政光	千歳夢工房手打ちそばの会
13	1027	岡部 洋子	江戸流手打ちそば二・八の会

PLATINUM SOBA MEISTER(500単位) 56名続き

NO	単位	認証者	所属団体
28	555	石原 宗郎	山陽手打ち蕎麦の會
29	553	飯島 善次郎	栃木のうまい蕎麦を食べる会
30	547	高田 豊司	白老手打ちそばの会
31	546	田中 哲三	そば道場旭川
32	544	屋成 博幸	みやこ町蕎麦の会
33	539	萩野谷 廣治	栃木のうまい蕎麦を食べる会
34	537	菊地 佳重子	江戸流手打ちそば二・八の会
35	533	亀井 計治	うつのみや 和楽の会
36	531	成田 直喜	いしかり手打ちそば同好会
37	531	折原 茂夫	彩蕎一門会
38	530	進藤 光一	下総手打ちそばの会
39	529	佐藤 訓孝	郡山西地区そば打ち団体連合会
40	528	加藤 宏一	いしかり手打ちそば同好会
41	527	道下 千明	金沢湯涌そばの会
42	527	菊池 治美	茨木蕎麦打ち倶楽部
43	527	小谷 敬子	山陽手打ち蕎麦の會
44	526	松坂 実	江別手打ちそば愛好会
45	521	大西 由美子	いしかり手打ちそば同好会
46	521	工藤 勉	栃木のうまい蕎麦を食べる会
47	517	宮永 三喜男	彩蕎一門会
48	516	菅谷 文三	さいたま蕎麦打ち倶楽部北本
49	514	吉岡 鉄史郎	いしかり手打ちそば同好会
50	509	増山 洋一	分いしかり 札幌星置そば道場
51	503	片野 光詞	神戸手打ちそばの会
52	503	棚田 久美江	東広島そばの会
53	502	小澤 隆一	苫小牧手打ちそば愛好会
54	501	吉岡 広貴	東広島そばの会
55	500	渡辺 和哉	北の郷 そば工房
56	500	高橋 英俊	そばくらぶ信濃二八会

PLATINUM SOBA MEISTER(500単位) 56名

NO	単位	認証者	所属団体
1	964	土屋 博一	江戸流手打ち蕎麦 鷓合之衆
2	943	田中 博文	桃園そば打ち会
3	940	等々力 直美	江戸流手打ちそば二・八の会
4	721	本田 與人	郡山西地区そば打ち団体連合会
5	675	森下 富夫	結乃會
6	662	川西 宗夫	岡山そばの楽校
7	656	安田 光夫	栃木のうまい蕎麦を食べる会
8	651	小林 昭	そばうちくらぶ わくわく
9	649	田村 新一	幕張ベイタウンそば打ち倶楽部
10	629	小林 茂	常陸そばの会
11	623	渡邊 千枝子	北の郷 そば工房
12	613	松本 道博	分いしかり 札幌星置そば道場
13	605	加藤 宰	そば食楽部 北竜
14	605	杉原 輝美	上市そば道場
15	598	佐藤 悦子	千葉県そば推進協議会
16	590	川邊 美津江	沼田雪中そば倶楽部
17	584	前浜 佳代子	広島そば打ち倶楽部
18	582	小林 光朋	とちぎ蕎和会
19	579	平木 清行	備後蕎友会
20	578	小椋 修次	いしかり手打ちそば同好会
21	571	佐々木 克恵	白老手打ちそばの会
22	569	大沢 英敏	信州そば道場
23	569	東森 史朗	茨木蕎麦打ち倶楽部
24	568	柁澤 真勇美	ふくいそば打ち愛好会
25	567	荻原 利喜雄	苫小牧手打ちそば愛好会
26	561	中林 朋子	ニコニコそば打ち同好会
27	557	倉持 四郎	旭川手打ちそば笑練会

GOLD SOBA MEISTER(300単位) 134名

NO	単位	認証者	所属団体
1	488	菅沼 輝男	栃木のうまい蕎麦を食べる会
2	481	宮本 勝喜	江戸流手打ち蕎麦 鷓合之衆
3	476	竹内 一雄	NPO法人信州そばアカデミー
4	468	中秋 勝広	北海道 蕎悠会
5	466	吉川 甲次	しらこぼと蕎麦打ち会
6	457	喜多 悦代	熊野古道そばネット
7	456	喜多 泰信	熊野古道そばネット
8	453	菅野 雄二	郡山西地区そば打ち団体連合会
9	450	金内 正志	苫小牧手打ちそば愛好会
10	448	塚越 昭治	さいたま蕎麦打ち倶楽部北本
11	447	佐藤 秋二	大島そば同好会

GOLD SOBA MEISTER(300単位) 134名続き

NO	単位	認証者	所属団体
12	437	小倉 一郎	さの蕎麦の会
13	424	磯谷 修二	栃木のうまい蕎麦を食べる会
14	422	中山 弘治	栃木のうまい蕎麦を食べる会
15	421	松本 満	栃木のうまい蕎麦を食べる会
16	421	赤尾 吉一	そばの花日吉
17	415	高橋 英三	十勝蕎麦倶楽部
18	415	森 哲雄	千葉県そば推進協議会
19	413	内藤 務	遠州浜松 そば道場
20	412	橋本 潔	うつのみや 和楽の会
21	412	林原 好博	やつおそば大衆
22	411	山口 鉄夫	茨木蕎麦打ち倶楽部
23	409	城 守	旭川手打ちそば笑練会
24	405	松浦 美佐子	NPO法人越前みやまそば元気の会
25	399	山口 澄	ふじみ蕎麦クラブ
26	397	松本 則雄	大島そば同好会
27	396	川島 秀行	さいたま蕎麦打ち倶楽部北本
28	395	入江 一統	わいわい芸備蕎麦塾
29	393	高橋 宣一	大島そば同好会
30	386	星 十三男	しらこぼと蕎麦打ち会
31	384	宮澤 敏泰	十勝蕎麦倶楽部
32	384	中 正樹	茨木蕎麦打ち倶楽部
33	383	名内 公一	Aネットそば打ち研究会
34	383	坪井 喜代子	彩蕎一門会
35	383	五十嵐 久隆	NPO法人 越前そば連合
36	380	近藤 真奈美	茨木蕎麦打ち倶楽部
37	379	岡部 孝夫	分いしかり 札幌星置そば道場
38	379	萩原 久子	けやき蕎麦打ち同好会
39	379	福野 滋樹	将門そば道場
40	378	福森 敏雄	さいたま蕎麦打ち倶楽部北本
41	376	森下 隆平	いしかり手打ちそば同好会
42	376	道源 義博	北海道 蕎悠会
43	376	齊藤 光司	とちぎ蕎和会
44	374	竹中 豊彦	茨木蕎麦打ち倶楽部
45	373	田代 智子	千葉県そば推進協議会
46	373	大塚 順弘	大阪狭山手打ち そば会
47	372	石井 邦良	伊勢原蕎麦打ち倶楽部
48	370	高橋 久	安積そば同好会
49	370	廣武 照明	麵文化アカデミーよこはま栄
50	368	青木 満男	栃木のうまい蕎麦を食べる会
51	367	土井 茂弘	西宮そば打ち同好会
52	365	江藤 隆之	平尾台手打ちそば倶楽部
53	364	花塚 洋	栃木県そば振興協議会
54	364	殿界 進二	永沢寺そば打ち愛好会
55	363	村井 光祥	北広島手打ちそば愛好会
56	362	木村 恵	幌加内そば工房 坂本

GOLD SOBA MEISTER(300単位) 134名続き

NO	単位	認証者	所属団体
57	361	太田 進一	山陽手打ち蕎麦の会
58	360	林 正文	大阪狭山手打ち そば会
59	357	石田 任亨	手打ちそばサークル悠遊
60	356	本庄 繁	とちぎ蕎和会
61	356	長澤 芳男	彩蕎一門会
62	356	萩中 捷子	上市そば道場
63	356	高橋 明雄	姨捨そば道場
64	356	淵上 清	大阪狭山手打ち そば会
65	355	徳本 恵治	びわ湖手打ちそばの会
66	353	田上 昌幸	手打ちそばグループ白花
67	353	綾谷 省三	さの蕎麦の会
68	353	平野 正利	幕張ベイタウンそば打ち倶楽部
69	353	原田 裕治	こもれび蕎麦の会
70	350	関根 勝則	名寄地区手打ちそば愛好会
71	350	金澤 美恵	六甲益田屋そば打ちの会
72	348	小野 勝	三原そばの会
73	347	田浦 祐治	江別手打ちそば愛好会
74	347	山口 富子	栃木のうまい蕎麦を食べる会
75	347	宮川 忠男	上市そば道場
76	347	山下 俊二	神戸手打ちそばの会
77	347	東 徳雄	茨木蕎麦打ち倶楽部
78	344	中川 哲夫	千歳夢工房手打ちそばの会
79	343	阿部 正敏	北広島手打ちそば愛好会
80	342	江淵 雅文	北海道 蕎悠会
81	339	柳田 博巳	うつのみや 和楽の会
82	338	坂本 清二	苫小牧手打ちそば愛好会
83	338	巻口 義明	苫小牧手打ちそば愛好会
84	338	古川 昌俊	千歳夢工房手打ちそばの会
85	338	相川 修平	大島そば同好会
86	337	鈴木 美明	常陸そばの会
87	336	菅原 正	名寄地区手打ちそば愛好会
88	335	池田 光宏	Aネットそば打ち研究会
89	335	鈴木 金性	安積そば同好会
90	334	佐々木 久	分いしかり 札幌星置そば道場
91	334	山口 恵三	NPO法人信州そばアカデミー
92	333	中澤 秀司	栃木のうまい蕎麦を食べる会
93	333	源嶋 利八	安積そば同好会
94	331	山口 昌彦	江戸流手打ち蕎麦 鶺の会
95	331	西 俊久	恒持庵
96	330	小森 春美	とちぎ蕎和会
97	330	大塚 康治	下総手打ちそばの会
98	329	鶴谷 純子	ニコニコそば打ち同好会
99	328	椎名 節則	栃木のうまい蕎麦を食べる会
100	327	本間 みち子	白老手打ちそばの会

GOLD SOBA MEISTER(300単位) 134名続き

NO	単位	認証者	所属団体
101	325	奥田 政章	名寄地区手打ちそば愛好会
102	324	森田 操	栃木のうまい蕎麦を食べる会
103	322	中澤 喜美子	姨捨そば道場
104	321	辻 美千代	幌加内そばスクール蕎麦庵
105	321	松本 正美	栃木のうまい蕎麦を食べる会
106	320	吉川 和江	幌加内そばスクール蕎麦庵
107	320	齋藤 恵子	とちぎ蕎和会
108	319	高田 賢治	苫小牧手打ちそば愛好会
109	319	大西 常夫	伊勢手打ちそばの会
110	317	原田 順一	栃木のうまい蕎麦を食べる会
111	317	江波戸 八重子	匠達そばの会
112	316	宮武 美智子	白老手打ちそばの会
113	314	鈴木 常良	北海道 蕎和会
114	314	小野 剛史	ふくいそば打ち愛好会
115	313	三浦 テルミ	清原手打ちそばの会
116	312	金子 広之	さいたま蕎麦打ち倶楽部北本
117	311	植村 保男	大島そば同好会
118	311	高根沢 賢二	彩蕎一門会
119	310	樫見 久芳	北広島手打ちそば愛好会
120	310	川邊 敏隆	沼田雪中そば倶楽部
121	310	塚原 浩章	江戸流手打ちそば青山学舎
122	309	齊藤 清	桃園そば打ち会
123	309	加藤 治弘	匠達そばの会
124	308	波多野 寛治	十勝蕎麦倶楽部
125	308	村上 卓也	恵庭川沿そば道場
126	308	糸谷 秀樹	分いしかり 札幌星置そば道場
127	308	田村 良一	千葉県そば推進協議会
128	307	岡 節雄	江戸流手打ちそば二・八の会
129	304	矢野 建一	しらこぼと蕎麦打ち会
130	304	小林 寿恵子	上市そば道場
131	302	櫻井 すみ江	姨捨そば道場
132	300	伊藤 貞雄	恵庭手打ちそばの会
133	300	佐田 一男	そば道場旭川
134	300	車田 文弘	武蔵野そばの会

SILVER SOBA MEISTER(200単位) 116名続き

NO	単位	認証者	所属団体
8	287	荒木 一雄	郡山西地区そば打ち団体連合会
9	284	横山 治	常陸そばの会
10	283	宮田 光進	とちぎ蕎和会
11	283	山室 恵美子	雷門そば倶楽部
12	281	小尾 隆	武蔵野そばの会
13	280	松本 明	江戸流手打ちそば二・八の会
14	279	田村 美知子	いしかり手打ちそば同好会
15	278	笹埜 清子	ふくいそば打ち愛好会
16	278	櫻井 久男	姨捨そば道場
17	278	磯崎 誠司	神戸手打ちそばの会
18	274	伊藤 光雄	姨捨そば道場
19	271	倉田 泰宏	恵庭手打ちそばの会
20	271	佐藤 峰幸	さくら蕎麦の会
21	270	菅谷 明美	びらとり蕎楽同好会
22	270	堀部 美佐男	大島そば同好会
23	270	山下 むつみ	熊野古道そばネット
24	268	猪口 雅之	分いしかり 札幌星置そば道場
25	267	宮本 理香子	北広島手打ちそば愛好会
26	267	井野 孔昭	福島手打ちそばの会
27	267	小林 雄一	信州中野蕎麦文化普及会
28	266	松森 徹	きびじそばの会
29	261	坂井 豊	さいたま蕎麦打ち倶楽部北本
30	260	岩本 シナ子	とちぎ蕎和会
31	259	池田 睦美	茨木蕎麦打ち倶楽部
32	258	国分 秀司	郡山西地区そば打ち団体連合会
33	258	加藤 征男	結乃會
34	258	平戸 勇	常陸そばの会
35	256	正田 秀雄	栃木のうまい蕎麦を食べる会
36	256	大塚 勇	とちぎ蕎和会
37	256	大原 実	茨木蕎麦打ち倶楽部
38	255	本田 穂広	NPO法人信州そばアカデミー
39	254	楠 真紀子	とちぎ蕎和会
40	254	徳丸 広美	六甲益田屋そば打ちの会
41	253	石原 元子	山陽手打ち蕎麦の會
42	253	鎌田 壽枝	わいわい芸備蕎麦塾
43	252	松井 靖	恵庭川沿そば道場
44	251	村田 明光	旭川手打ちそば笑練会
45	251	塚原 陽一	とちぎ蕎和会
46	251	小野松 雅典	清原手打ちそばの会
47	251	齋藤 利恵	江戸流手打ちそば青山学舎
48	251	加藤 敏雄	永沢寺そば打ち愛好会
49	250	石川 利行	下野そばの会
50	249	佐々木 正和	手打ちそばときわ会
51	247	松沢 浩江	恵庭川沿そば道場

SILVER SOBA MEISTER(200単位) 116名

NO	単位	認証者	所属団体
1	298	鳥尻 昇	音更蕎麦研究会
2	297	田中 布実子	匠達そばの会
3	294	小谷野 進	栃木のうまい蕎麦を食べる会
4	292	為田 雅弘	苫小牧手打ちそば愛好会
5	292	江口 光雪	平尾台手打ちそば倶楽部
6	290	美藤 一好	音更蕎麦研究会
7	290	飯塚 和夫	栃木のうまい蕎麦を食べる会

SILVER SOBA MEISTER(200単位) 116名続き

NO	単位	認証者	所属団体
52	247	島田 則子	とちぎ蕎和会
53	246	徳嶽 和平	茨木蕎麦打ち倶楽部
54	245	鈴木 二三夫	そばの花日吉
55	244	鈴木 茂	びらとり蕎楽同好会
56	244	久保田 裕	信州そば道場
57	243	松永 陽一	いしかり手打ちそば同好会
58	243	亀田 福治	とちぎ蕎和会
59	243	東 裕章	東広島そばの会
60	242	勝沼 康郎	千葉県そば推進協議会
61	240	朝比奈 厚	さいたま蕎麦打ち倶楽部北本
62	240	森 節夫	しらこぼと蕎麦打ち会
63	240	片桐 努	しらこぼと蕎麦打ち会
64	237	岡田 毅	当麻町そば研究会
65	236	大上 英男	恒持庵
66	236	佐藤 和男	しらこぼと蕎麦打ち会
67	236	石田 紀雄	蕎恭の会
68	236	谷口 正一郎	ふくいそば打ち愛好会
69	234	市川 眞理子	千葉県そば推進協議会
70	233	菅野 友春	手打ちそばときわ会
71	233	三宅 隆	江戸流手打ちそば二・八の会
72	232	川戸 務	神戸手打ちそばの会
73	231	吉田 昇	安積そば同好会
74	231	上野 美子	とちぎ蕎和会
75	231	小林 二三男	匠磋そばの会
76	230	澁谷 純子	栃木のうまい蕎麦を食べる会
77	230	岩本 真由美	とちぎ蕎和会
78	230	福田 雅雄	さいたま蕎麦打ち倶楽部北本
79	226	佐藤 薫	分いしかり 札幌星置そば道場
80	225	廣田 伸司	北広島手打ちそば愛好会
81	224	熱田 秀代	匠磋そばの会
82	224	笹津 剛	白山蕎麦倶楽部
83	223	遠山 カツエ	手打ちそばときわ会
84	222	村里 信雄	恵庭手打ちそばの会
85	222	宮川 千恵子	とちぎ蕎和会
86	222	上岡 国光	彩蕎一門会
87	221	笹田 美智子	北広島手打ちそば愛好会
88	221	鹿島 英志	おしゃまんべそば打ちサークル
89	221	清水 啓二	そば塾すゞか
90	221	関内 浩佳	西宮そば打ち同好会
91	220	山中 博美	栃木のうまい蕎麦を食べる会
92	220	森 隆	彩蕎一門会
93	220	池田 美千代	上市そば道場
94	220	一山 由佳	西宮そば打ち同好会
95	218	佐藤 功	北広島手打ちそば愛好会

SILVER SOBA MEISTER(200単位) 116名続き

NO	単位	認証者	所属団体
96	218	村上 貞喜	西宮そば打ち同好会
97	216	松井 一子	上市そば道場
98	215	知久 千恵彦	栃木のうまい蕎麦を食べる会
99	215	人見 由美子	江戸流手打ち蕎麦 鶉の会
100	212	阿久津 友男	うつのみや 和楽の会
101	211	寺島 喜久美	幌加内そば工房 坂本
102	211	山本 克博	北広島手打ちそば愛好会
103	211	米林 正志	恵庭川沿そば道場
104	211	西山 義信	栃木のうまい蕎麦を食べる会
105	210	木田 照雄	桃園そば打ち会
106	209	大西 正	ネパールそば打ち研究会
107	209	村田 逸子	そばくらぶ信濃二八会
108	207	青山 光子	ネパールそば打ち研究会
109	204	橋本 禎子	安積そば同好会
110	204	大柿 和男	とちぎ蕎和会
111	204	小暮 周平	とちぎ蕎和会
112	203	北野 和夫	大阪狭山手打ち そば会
113	201	佐々木 智士	苫小牧手打ちそば愛好会
114	201	齋藤 光子	とちぎ蕎和会
115	201	沖嶋 美津代	山陽手打ち蕎麦の會
116	200	高橋 年光	栃木のうまい蕎麦を食べる会

SOBA MEISTER(100単位) 145名

NO	単位	認証者	所属団体
1	196	国分 恭子	郡山西地区そば打ち団体連合会
2	196	久保田 徹	東広島そばの会
3	194	吉田 有哉	北檜山手打ちそば愛好会
4	194	梶原 剛	きびじそばの会
5	190	中嶋 茂	幌加内手打ちそば雅の会
6	188	佐藤 喜久雄	小原田そば同好会
7	187	山村 まさ子	そばの花日吉
8	186	山崎 隆	白老手打ちそばの会
9	184	関部 健治	北の郷 そば工房
10	182	米林 尚子	恵庭川沿そば道場
11	182	中井 新	東広島そばの会
12	178	袴田 健作	遠州浜松 そば道場
13	176	長谷川 力	安積そば同好会
14	176	増田 和子	麵文化アカデミーよこはま栄
15	175	山本 勝	遠州浜松 そば道場
16	174	田中 典利	栃木のうまい蕎麦を食べる会
17	172	絹谷 國雄	そばくらぶ信濃二八会
18	171	逸見 穰	分いしかり 札幌星置そば道場
19	170	百戸 正行	栃木のうまい蕎麦を食べる会
20	170	小林 重森	とこなめそば打ち道場

SOBA MEISTER(100単位) 145名続き

NO	単位	認証者	所属団体
21	169	大沼 順子	栃木のうまい蕎麦を食べる会
22	169	小杉 博	やつおそば大楽
23	167	立花 仁美	そばの花日吉
24	165	佐藤 良文	中標津手打ちそば同好会
25	164	小池 美恵子	十勝蕎麦倶楽部
26	164	守田 克敏	千歳夢工房手打ちそばの会
27	164	岡田 全	清原手打ちそばの会
28	164	黒崎 昌人	清原手打ちそばの会
29	163	柴田 好枝	とちぎ蕎和会
30	163	手塚 順子	とちぎ蕎和会
31	161	三好 宏忠	きびじそばの会
32	160	佐藤 雅雄	伊勢原蕎麦打ち倶楽部
33	160	門井 秀夫	しらこぼと蕎麦打ち会
34	160	八木 勝好	とこなめそば打ち道場
35	160	内田 岳夫	遠州浜松 そば道場
36	159	永倉 吉裕	いしかり手打ちそば同好会
37	159	菊地 和夫	郡山そば同好会
38	158	垣原 典章	そば食楽部 北竜
39	158	石澤 一雄	安積そば同好会
40	158	橋本 彰夫	下野そばの会
41	158	高橋 孝夫	さくら蕎麦の会
42	157	川島 定夫	伊勢原蕎麦打ち倶楽部
43	157	清水 光男	金沢湯涌そばの会
44	156	深澤 功	とちぎ蕎和会
45	155	田端 三千雄	平尾台手打ちそば倶楽部
46	154	矢島 肇	さくら蕎麦の会
47	153	齊藤 聡	伊勢原蕎麦打ち倶楽部
48	153	石田 章	備前沖新田そばの会
49	151	上西 ツタエ	平尾台手打ちそば倶楽部
50	150	藤井 洋一	わいわい芸備蕎麦塾
51	148	浜田 文弘	分いしかり 札幌星置そば道場
52	148	田上 政輝	九頭龍工房富山そば道場
53	148	木邑 和弘	わいわい芸備蕎麦塾
54	146	佐藤 敏勝	安積そば同好会
55	146	松崎 高士	江戸流手打ち蕎麦 鶴の会
56	146	毛利 元真	わいわい芸備蕎麦塾
57	145	加藤 行男	匠磋そばの会
58	144	玉垣 優子	北の郷 そば工房
59	144	飯ヶ濱 一恵	姨捨そば道場
60	143	渡邊 佳彦	うつのみや 和楽の会
61	143	伴 榮夫	のぞみ蕎麦の会
62	142	小島 健治	栃木のうまい蕎麦を食べる会
63	141	古畑 美奈子	蕎麦道場 大瀬庵
64	140	倉橋 武	伊勢原蕎麦打ち倶楽部
65	140	中山 勇	金沢湯涌そばの会

SOBA MEISTER(100単位) 145名続き

NO	単位	認証者	所属団体
66	140	松谷 千佳	淡海そば打ち倶楽部
67	139	片山 久雄	栃木のうまい蕎麦を食べる会
68	139	増田 紀之	さいたま蕎麦打ち倶楽部北本
69	139	椎名 弘	匠磋そばの会
70	139	高木 武雄	麵文化アカデミーよこはま栄
71	138	藤城 雄爾	上市そば道場
72	137	杉原 良和	清原手打ちそばの会
73	137	中山 美和子	そばの花日吉
74	136	穴澤 盛之	大島そば同好会
75	136	篠山 誠二	そばの花日吉
76	136	穴戸 豊子	そば塾すゝか
77	133	藤井 哲夫	いしかり手打ちそば同好会
78	133	岡野 浩一	さくら蕎麦の会
79	132	宮澤 敏彦	とこなめそば打ち道場
80	132	中嶋 千秋	幌加内手打ちそば雅の会
81	132	堀切 俊弘	神戸手打ちそばの会
82	132	久森 信代	そば塾すゝか
83	132	安田 雅次	きびじそばの会
84	131	高森 栄	音更蕎麦研究会
85	131	細谷 悦子	江戸流手打ちそば二・八の会
86	128	伴 知一	下野そばの会
87	128	金子 雅弘	さくら蕎麦の会
88	128	赤堀 吉史	遠州浜松 そば道場
89	128	太田 達郎	神戸手打ちそばの会
90	128	榎田 高義	西宮そば打ち同好会
91	127	細田 正男	さいたま蕎麦打ち倶楽部北本
92	126	橋本 光利	とちぎ蕎和会
93	126	石塚 恵津子	わいわい芸備蕎麦塾
94	125	高橋 正卓	そばの花日吉
95	125	高村 智通	NPO法人 越前そば連合
96	125	山下 洋子	そば塾すゝか
97	124	吉川 重治	九頭龍工房富山そば道場
98	124	宝蔵寺 保典	わいわい芸備蕎麦塾
99	123	稲田 慎嗣	中標津手打ちそば同好会
100	123	西原 康晴	茨木蕎麦打ち倶楽部
101	122	野本 昌靖	栃木のうまい蕎麦を食べる会
102	122	岩方 悟	そばくらぶ信濃二八会
103	121	竹口 晶一	旭川手打ちそば笑練会
104	121	井上 清一	そばの花日吉
105	120	吉野 一	北の郷 そば工房
106	120	磯 久雄	しらこぼと蕎麦打ち会
107	120	鹿野 哲郎	さいたま日本蕎麦愛好会
108	119	小島 正	栃木のうまい蕎麦を食べる会
109	119	荒井 由佳理	そば工房 赤松塾
110	118	津川 崇史	名寄地区手打ちそば愛好会

SOBA MEISTER(100単位) 145名続き

NO	単位	認証者	所属団体
111	118	渡邊 博	とちぎ蕎和会
112	118	小島 隆史	そばの花日吉
113	117	大橋 誠	栃木のうまい蕎麦を食べる会
114	116	高橋 徳雄	恵庭川沿そば道場
115	116	渡辺 修一	栃木のうまい蕎麦を食べる会
116	116	巻島 陽一	栃木のうまい蕎麦を食べる会
117	116	松井 富士男	しらこぼと蕎麦打ち会
118	115	吉野 忠昭	分いしかり 札幌星置そば道場
119	114	堀 和典	うつのみや 和楽の会
120	114	加藤 令子	そば工房 赤松塾
121	114	吉村 光生	そば工房 赤松塾
122	113	大橋 葉子	栃木のうまい蕎麦を食べる会
123	113	都澤 昌克	桃園そば打ち会
124	112	中田 優貴	十勝蕎麦倶楽部
125	111	横田 浩	三原そばの会
126	110	田中 正樹	栃木のうまい蕎麦を食べる会
127	110	佐藤 功一	手打ちそばときわ会
128	109	掃部 成生	神戸手打ちそばの会
129	109	西谷 勝伸	三原そばの会
130	108	古澤 利夫	栃木のうまい蕎麦を食べる会
131	108	才丸 稔	武蔵野そばの会
132	106	海藤 恵美子	北の郷 そば工房
133	106	塚月 敬二	麵文化アカデミーよこはま栄
134	106	堀田 耕永	上市そば道場
135	106	正木 容子	九頭龍工房富山そば道場
136	104	佐久間 富美子	手打ちそばときわ会
137	104	川尻 俊昭	しらこぼと蕎麦打ち会
138	103	古川 茂	大島そば同好会
139	103	筋内 太治	手打ちそばときわ会
140	103	唐澤 嘉男	NPO法人信州そばアカデミー
141	103	小清水 幸恵	平尾台手打ちそば倶楽部
142	102	塩谷 篤	麵文化アカデミーよこはま栄
143	100	鈴木 キワ子	白老手打ちそばの会
144	100	池田 友康	うつのみや 和楽の会
145	100	宮城 健	そばの花日吉

添付資料-4 令和5年度研修センター利用状況

(単位：回/延べ人)

項目 月	高段位講習		一般教室		夜間		会員		その他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
R6.4月	4	104	2	6	2	13	2	20	0	0	10	143
5月	4	104	4	10	2	23	3	15	2	25	15	177
6月	4	104	2	6	2	23	2	10	4	32	14	175
7月	5	140	6	23	4	25	3	17	2	46	20	251
8月	3	83	2	5	1	10	1	5	0	0	7	103
9月	7	146	3	7	3	29	0	0	2	12	15	194
10月	7	74	5	11	4	24	0	0	2	60	18	169
11月	4	42	4	11	3	12	0	0	3	18	14	83
12月	4	42	1	2	2	13	1	10	0	0	8	67
R7.1月	4	94	0	0	3	22	1	20	1	19	9	155
2月	4	94	0	0	4	23	2	24	3	46	13	187
3月	4	94	0	0	4	32	1	6	1	37	10	169
合計	54	1,121	29	81	34	249	16	127	20	295	153	1,873

(注) 「その他」の利用は、そばプラス活動、そば打ち見学会、五段位学科試験研修等である。

添付資料5

会員名簿

北海道支部

会員名	代表者氏名
幌加内町	町長 細川 雅弘
新得町	町長 浜田 正利
東川町	東川町長 菊地 伸
学校法人北工学園 旭川福祉専門学校	理事長 磯田 憲一
東川町立東川日本語学校	東川町長 菊地 伸
幌加内町そば祭り実行委員会	委員長 中南 裕行
(株)北村そば製粉	代表 北村 忠一
北海道そば研究会	会長 齊藤 馨
札幌手打ちそば愛好会	会長 櫻岡 清治
苫小牧手打ちそば愛好会	会長 有川 美紀子
いしかり手打ちそば同好会	会長 藤田 宜且
奈井江手打ちそば道光会	代表 丸山 勝孝
そば食楽部 北竜	代表 中村 高一
幌加内そば工房 坂本	代表 西村 光大
札幌新川そばの会	代表 佐伯 昌夫
当麻町そば研究会	会長代行 木下 和夫
みなみ製粉株式会社	代表取締役 太田 道郎
中標津手打ちそばさき蔵学校	代表 上原 芳昭
北の郷 そば工房	代表 赤松 幸一
十勝蕎麦倶楽部	代表 宮澤 敏泰
北海道空知上砂川手打ちそば愛好会	代表 高橋 勝利
北広島手打ちそば愛好会	会長 松岡 弘武
道南ブロック手打ちそば推進協議会	坂井 修
音更蕎麦研究会	代表 市川 智寛
名寄地区手打ちそば愛好会	会長 奥田 政章
沼田雪中そば倶楽部	会長 川邊 敏隆
中標津手打ちそば同好会	代表 服部 峰雄
多寄町そば打ち愛好会	代表 森下 悠次
登別蕎麦道場	代表 江端 憲一
幌加内そばうたん会	代表 番水 一光
じぞう庵そば塾	会長 林 武
江別手打ちそば愛好会	会長 服部 涉
Aネットそば打ち研究会	会長 名内 公一

会員名	代表者氏名
馬追手打ちそばの会	代表 福田 順次
幌加内そばスクール蕎麦庵	理事長 守田 秀生
快適生活塾岩見沢手打ちそば同好会	会長 松重 彰伸
恵庭手打ちそばの会	会長 村里 信雄
東神楽町聖台手打ちそば研究会	会長 熊谷 隆一
朋練会	理事長 三浦 隆
室蘭手打ちそば愛好会	会長 古屋 美智恵
幌加内そば道場運営委員会	委員長 坂本 勝之
小樽手打ちそば群来の会	会長 工藤 文朗
恵庭川治そば道場	会長 木村 幸治
そば道場旭川	会長 佐藤 千代美
分いしかり 札幌星置そば道場	代表 吉田 勝
おたる手打ちそば同好会	代表 川合 澄子
釧路そば打ち同好会	代表 武藤 俊哉
札幌蕎麦道会	代表 長谷川 勉
千歳夢工房手打ちそばの会	会長 山口 満
しべつ麵打ち愛好会	代表 小野 勝
秩父別そば打ち同好会	会長 大池 豊
おしゃまんべそば打ちサークル	会長 鹿島 英志
上川そば打ち愛好会	会長 桜井 博文
北海道幌加内高等学校	校長 後藤 卓
手打ちそばグループ白花	代表 後藤 秀明
北斗蕎麦打ち倶楽部	会長 関崎 泰博
伊達手打ちそば愛好会	会長 菅原 哲雄
幌加内手打ちそば雅の会	会長 中村 雅義
北海道 蕎悠会	会長 小島 裕樹
旭川手打ちそば笑練会	会長 倉持 四郎
びらとり蕎麦同好会	会長 鈴木 茂
八雲蕎麦遊会	会長 岡村 秀實
北檜山手打ちそば愛好会	会長 森 隆二
白老手打ちそばの会	会長 宮武 美智子
旭川そばスクールまつもり	会長 松森 八重子

北海道 地方公共団体正会員 2
 公共的団体制員 3
 正会員 60

東日本支部

会員名	代表者氏名
喜多方市	市長 遠藤 忠一
陸上町	町長 荒谷 志輝
うつくしま蕎麦王国協議会	会長 菅野 伸是
会津そば塾	代表 唐橋 宏
会津磐梯そば道場	代表 長谷川 徹
ふるさと寒河江そば工房	会長 鈴木 俊一郎
栃木のうまい蕎麦を食べる会	会長 芳田 時夫
会津山都そば協会	会長 鈴木 勝
たかばやし蕎麦研究会	会長 君島 照明
会津田島御蔵入そばの会	代表 大竹 洋一
群馬奥利根連合そば会	会長 湯本 博
太田こだわり蕎麦の会	代表 加藤 志伸
青森県そば研究会	代表 佐藤 重一
いわきそば塾	塾長 根内 一彰
大島そば同好会	会長 橋本 正希
安積そば同好会	会長 高橋 久
宮城手打ちそば研究会	会長 松田 俊広
石川そば同好会	会長 近内 康
郡山西地区そば打ち団体連合会	代表 高橋 寛之
とちぎ蕎和会	会長 小林 光朋
郡山そば同好会	代表 渡辺 樹太郎
そば始め会	会長 高橋 良二
手打ちそばときわ会	会長 吉田 忠
仙台一番町そば塾	代表 日野 浩一

東日本 地方公共団体正会員 2
正会員 46

会員名	代表者氏名
結乃會	会長 齊藤 巖
山形県庁そば研究会	会長 丹野 寛之
蓬田村そば打ち研究会	会長 山館 建
水神蕎麦	会長 一ノ瀬 龍治郎
ふくしまマスターズ 11期生そば打ち愛好会	代表 横山 エイ子
うつのみや 和楽の会	会長 堀内 信夫
福島手打ちそばの会	会長 富田 美都男
清原手打ちそばの会	会長 鈴木 孝行
一水蕎麦塾	代表 松沼 孝
おくにの郷	会長 森田 証作
さの蕎麦の会	会長 石川 明秀
蔵ノ街蕎麦会	代表 布施 文二
小原田そば同好会	会長 佐藤 信義
下野そばの会	会長 石川 利行
しらさぎ蕎麦会	会長 尾島 洋二
水石そば打ち愛好会	会長 木田 比登志
会津そば油の会	会長 五十嵐 定雄
のぞみ蕎麦の会	会長 伴 榮夫
猪苗代手打ちそばの会	会長 渡部 清人
栃木県そば振興協議会	代表 堀内 信夫
比角そば打ち同好会	代表 田村 光一
ふじみ蕎麦クラブ	代表 池田 茂
秋田手打ちそば研究会	会長 佐藤 晴夫
会津城南そば打ち会	会長 佐藤 公雄

首都圏支部

会員名	代表者氏名
江戸流手打ち蕎麦 鶺鴒の会	会長 山口 昌彦
さいたま蕎麦打ち倶楽部北本	会長 鈴木 光雄
いばらき蕎麦の会	会長 人見 實徳
江戸流手打ちそば青山学会	会長 渡辺 健晴
江戸流手打ちそば二・八の会	代表 永友 正志
千葉県そば推進協議会	代表 石橋 ちず江
千葉手打ち蕎麦の会	代表 勝山 富江
いわせ蕎麦の会	代表 若林 正美
さくら蕎麦の会	代表 杉山 忠秋
TOKYO蕎麦塾	塾長 小関 純
手打ちそば教室 蕎麦普	代表 鴨井 孝
蕎麦の会 藤	代表 横山 忠弘
江戸流手打ちそば 鶺鴒の会	代表 土屋 晴石
蕎麦喰地蔵尊 蕎麦打ち会	代表 畑 貞則
江戸流手打ち蕎麦 鶺鴒合之衆	代表 小野 マサル
NPO法人手打ちそば道場新宿村	代表 佐藤 和雄
幕張ベイタウンそば打ち倶楽部	代表 田村 新一
彩蕎一門会	代表 樽見 二三男
そば塾 彩蕎庵	会長 安田 武司
日本橋そばの会	会長 兼城 健
恒持庵	会長 坂本 始喜
手打ちそばサークル悠遊	代表幹事 石田 任亭

首都圏 地方公共団体正会員 0
正会員 43

会員名	代表者氏名
桃園そば打ち会	会長 田中 博文
けやき蕎麦打ち同好会	会長 山口文彦
伊勢原蕎麦打ち倶楽部	代表 鈴木 一夫
常陸そばの会	会長 鈴木 洋
こもれび蕎麦の会	代表 原田 裕治
洋子蕎麦打ち倶楽部	会長 常世田 洋子
しらこぼと蕎麦打ち会	会長 吉川 甲次
匠礎そばの会	会長 田中 布美子
武蔵野そばの会	会長 小尾 隆
雷門そば倶楽部	代表 土屋 照雄
古河手打ち蕎麦の会	会長 小倉 雅宏
所沢蕎麦打ち会	代表世話人 岸 正明
そばの会 小町	代表 池田 悦男
さいたま日本蕎麦愛好会	会長 田中 浩三
麵文化アカデミー よこはま栄	代表 廣武 照明
そばの花日吉	代表 赤尾 吉一
横浜南そば倶楽部	会長 大橋 茂
蕎恭の会	会長 杉山 二郎
みつわ手打ちそばの会	代表 馬場 兼雄
将門そば道場	代表 星崎 輝夫
下総手打ちそばの会	代表 田仲 悦郎

中日本支部

会員名	代表者氏名
南砺市	市長 田中 幹夫
信州松本そば推進協議会	代表 新保 力
越前そば道場	道場主 中山 晴夫
そば処 もえぎ野	代表 武田 修
富山そば研究会	会長 森 一夫
ネパールそば打ち研究会	代表 大西 正
やつおそば大楽	代表 林原 好博
(株)高山製粉	代表取締役 高山 猛英
遠州浜松 そば道場	代表 大森 正人
越中そばを楽しむ会	代表 水口 良山
南砺利賀そば研究会	代表 浦辻 一成
とこなめそば打ち道場	代表 小林 重森
NPO法人越前みやまそば元気の会	理事長 山口 正則
NPO法人信州そばアカデミー	理事長 赤羽 章司
ふくいそば打ち愛好会	代表 田中 高二
新川学びの森そば打ち愛好会	代表 藤森 芳恵
上市そば道場	代表 深澤 由紀子
佐久間新そば祭り実行委員会	代表 大見 芳
万波そばの会	代表 小邑 惣平
立山そば倶楽部	代表 水口 久雄
黒部そば道楽	会長 能島 岩男
白山蕎麦倶楽部	会長 笹津 剛
信州蕎麦の会	代表 西川 朋子
木島平村名水火口そばの会	会長 内藤 克彦

中日本 地方公共団体正会員 1
正会員 47

会員名	代表者氏名
和そば打ち道場	会長 猪口 八洲彦
農業生産法人(株)かまくらや	代表取締役 田中 浩二
信州中野蕎麦文化普及会	会長 出澤 京子
いいだ二八会	代表 佐々木 隆彦
三ツ峠そば打ち愛好会	代表 中村 常実
ののいち蕎麦倶楽部	会長 岡田 有人
蕎麦道場 大瀬庵	代表 大瀬 渡
そば工房 赤松塾	代表 赤松 年加津
九頭龍工房 富山そば道場	代表 吉川 重治
NPO法人 越前そば連合	理事長 安久 義二
蕎香庵	会長 加納 伸二
金沢湯涌そばの会	会長 道下 昭夫
信州 長和蕎麦会	会長 竜野 俊彦
そばくらぶ信濃二八会	代表 高橋 英俊
信州蕎麦打ち研究会	会長 木曾 茂
蕎麦工房 サガミ	代表 伊達 拓
信州そば道場	代表 百瀬 洋一
石川蕎麦愛好会	代表 原 保
白馬そば塾	代表 野々山 美樹
サンリツそばクラブ	代表 中川 飛希也
姉捨そば道場	代表 中條 善弘
つばきの郷そば塾	代表 志村 邦夫
八ヶ岳そば塾	代表 安里 為任
ゆかいな麵々 伊豆	代表 中川 真樹

西日本支部

会員名	代表者氏名
いなべ市	市長 日沖 靖
永沢寺そば道場	代表 和田 良三
NPO法人 泉北そば打ち普及の会	代表 山中 敏章
京阪奈蕎麦打倶楽部	代表 安永 孝
七望流そば道場	代表 望月 興博
神戸手打ちそばの会	会長 片野 光詞
播州そばの学校	主宰 山下 義直
大阪狭山手打ち そば会	代表 林 正文
永沢寺そば打ち愛好会	会長 安居 良貴
なにわ天下茶屋そば打ち倶楽部	代表 降旗 拓也
広島備後そばの会	代表 横山 哲美
いなそば生粉打ち体験道場	代表 林 みつ子
宝塚そば打ち同好会	代表 福田 治臣
ゆかいな麵々	代表 内藤 能民
茨木蕎麦打ち倶楽部	会長 竹中 豊彦
平尾台手打ちそば倶楽部	代表 北崎 サエ子
いなべ市蕎麦打ち同好会「雅」	会長 杉本 光太郎
びわ湖手打ちそばの会	会長 徳本 恵治
山口そば遊人会	代表 阿部 進
下河内の里山を守る会	代表 橋本 三保
はりまの国麺道倶楽部	委員長 岡本 隆晴
そば塾すいか	会長 清水 啓二
備中そばりえの会	会長 石川 基

会員名	代表者氏名
備後蕎麦友会	会長 藤原 晴雄
多賀そば地域協議会	会長 尾谷 忠之
みえきた手打ちそば同好会「蕎友会」	会長 坂口 正人
広島そば打ち倶楽部	会長 前浜 静男
あかしそば愛好会	会長 辻 秀子
植田塾そば打ち倶楽部	代表 菊池 賢太郎
名塩そば打人	代表 嶋原 秀男
NPO法人フードラボ 蕎麦打ち部	代表 砂野 信
祇園蕎麦塾	代表 鳴戸 浩
松阪そば打ち同好会	会長 堀江 嵩夫
播磨蕎麦の会	代表 岩本 正彦
備前三たて会	代表 清水 賢剛
そば津うなま 福朗会	代表 水谷 隆夫
菜園クラブ	会長 斉藤 晴美
三重そば結の会	会長 松永 和義
西宮そば打ち同好会	会長 関内 浩佳
尾道そば道場	代表 篠原 美文
ニコニコそば打ち同好会	代表 中林 朋子
山陽手打ち蕎麦の會	代表 土井 陽子
淡海そば打ち倶楽部	代表 大沼 健太郎
高本蕎麦打ち倶楽部	代表 大佛 善富
伊勢手打ちそばの会	代表 伊藤 道弘
伊佐手打ちそば倶楽部	会長 時任 俊明

西日本支部

会員名	代表者氏名
そばうちくらぶ わくわく	代表 米田 隆一
三原そばの会	会長 小野 勝
六甲益田屋そば打ちの会	会長 金澤 美恵
熊野古道そばネット	代表 奥田 成子
かわごえ蕎麦塾	代表 水谷 豪
内子蕎麦倶楽部	会長 亀田 強
岡山そばの楽校	代表 川西 宗夫
加古川ウェルネスパーク	代表 松田 真一
やんばる手打ちそば倶楽部	会長 宮城 久美子
東広島そばの会	会長 吉岡 広貴
播磨屋蕎麦之助	代表 小林 美香
わいわい芸備蕎麦塾	会長 入江 一統
讃岐蕎麦道場	代表 岸本 直子
福戎そば会	代表 諏訪 芳一
ゆかいな麺々 姫路	代表 長谷川 伸亨
赤そばの会	代表 小林 宏敏

西日本 地方公共団体正会員 1
正会員 77

会員名	代表者氏名
楽笑そば打ち倶楽部	会長 清水 隆徳
きびじそばの会	代表 三好 宏忠
そばヨガの会	代表 渡部 結花
津手打ちそばの会	会長 笠井 實
みやこ町蕎麦の会	代表 屋成 博幸
ゆーなそば仲間岡山歯会	会長 木下 靖之
備前沖新田そばの会	会長 石田 章
加太麵友会	会長 北澤 立男
関西上砂川手打ちそば愛好会	会長 大内 卓
いずみ蕎麦工房	代表 新平 貞巳
山口そば打ち倶楽部	会長 伊嶋 正之
円融会 蕎麦部	代表 佐藤 秀志
布施そば道場	代表 平松 誠司
癒やしのそば塾にぎわい	代表 水野 茂
もんどそば打ち会	代表 一山 由佳
広島そば道場	代表 上田 和男

地方公共団体賛助会員

会員名	代表者氏名
長野県塩尻市	市長 小口 利幸
広島県北広島町	町長 箕野 博司
宮城県村田町	町長 大沼 克巳

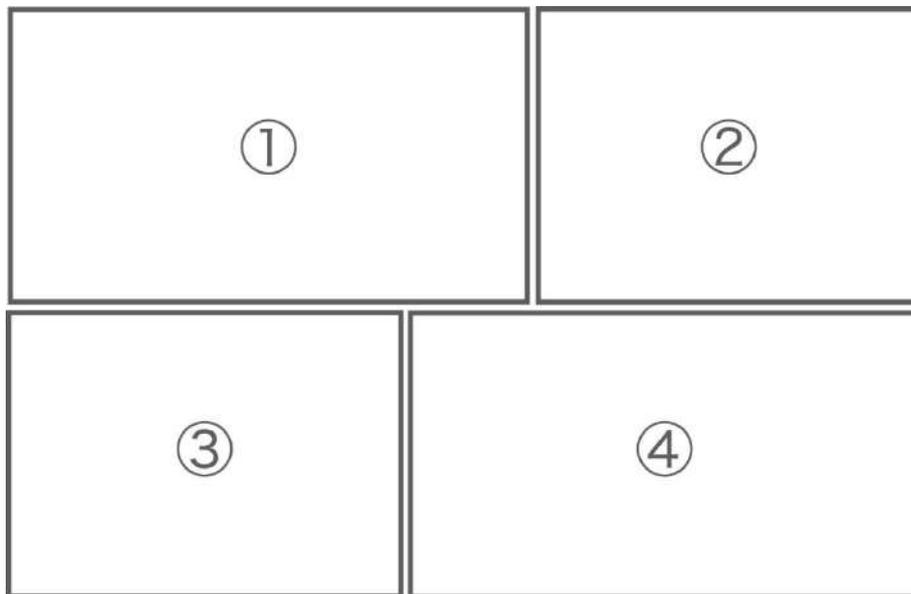
会員名	代表者氏名
埼玉県寄居町	町長 花輪 利一郎
埼玉県秩父市	市長 北堀 篤
宮城県仙台市	市長 郡 和子

一般企業賛助会員

会員名	代表者氏名
マサモト販売	代表 脇田 漢
株式会社大熊商店	代表取締役 川田 晴一
山加製粉株式会社	代表取締役 藤沢 和恵
(有)中村豊蔵商店	代表取締役 中村 要一

会員名	代表者氏名
(株)セキカワ	代表取締役 関川 昌徳
株式会社やまびこ	代表取締役 小山 美津雄
株式会社戸隠そば本舗	代表取締役社長 大日方 大治

正会員 273
地方公共正会員 6
公共的正会員 3
地方団体賛助 6
一般賛助会員 7
合計 295



表紙の写真

- ① 第3回一般公開そば大学 in 富山 中谷理事長挨拶
- ② 富山県立南砺平高等学校 麦屋節・こつきりこ 披露
- ③ 第1回全麵協そば道五段位全国大会 in 東京 五段位認定者によるそば打ち
- ④ 第1回全麵協そば道五段位全国大会 in 東京 参加者記念撮影



一般社団法人 全麺協

【本部事務局】 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 麺業会館4階
TEL : 03-3512-7112 Eメール : zenmen.honbu@gmail.com

【研修センター】 〒111-0035 東京都台東区西浅草2-8-10 フジコービル5階

